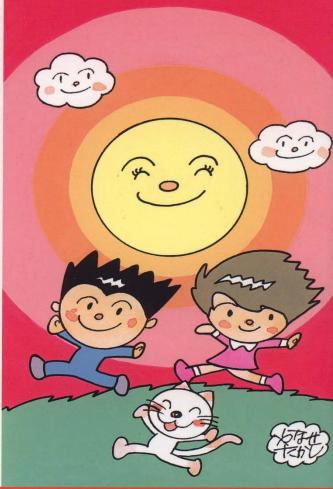
睡眠障害の理解と指導 一生活習慣の確立に向けて一

東京都立 久留米特別支援学校主催 研修会 2009年8月26日

社団法人地域医療振興協会 東京ベイ浦安市川医療センター センター長

子どもの早起きをすすめる会 日本小児神経学会評議員 同機関紙「脳と発達」副編集長 神山 潤





朝寝坊、夜ふかし… 生活リズムの乱れが 子どもをダメにする!! 子どもたちの 潜在能力を 伸ばすための 実践の書

発行/風讃社 発売/けやき出版

本日のキーワード 6つ

大切なのは: 朝の光、昼間の運動

とんでもないのは: 夜の光

知っていただきたいのは:

生体時計、セロトニン、メラトニン その上で 理論武装を

ヒトは24時間いつも同じに動いているロボットではありません。

徒競走のスタートラインに並ぶと心臓がどきどきするのはどうしてでしょう?

あなたが心臓に「動け」と命令したから心臓がどきどきしたのではありません。 自律神経が心と身体の状態を調べて、うまい具合に調整するからです。 自律神経には

昼間に働く交感神経と、夜に働く副交感神経とがあります

	昼間働く交感神経	夜働く副交感神経
心臓	どきどき	ゆっくり
血液	脳や筋肉	腎臓や消化器
黒目	拡大	縮小

ヒトは周期24時間の地球で生かされている動物なのです。

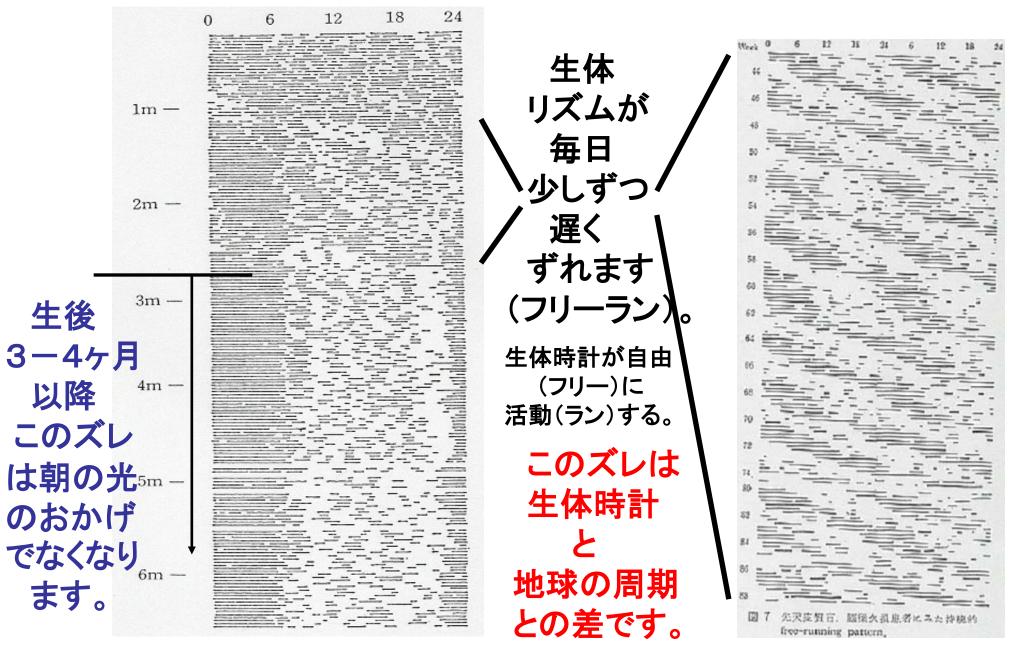
様々な概日リズム(睡眠・覚醒、体温、ホルモン)の相互関係



朝の光で周期24.5時間の生体時計は 毎日周期24時間にリセット

コルチコステロイドの日内変動

朝高く、夕方には低くなるホルモン

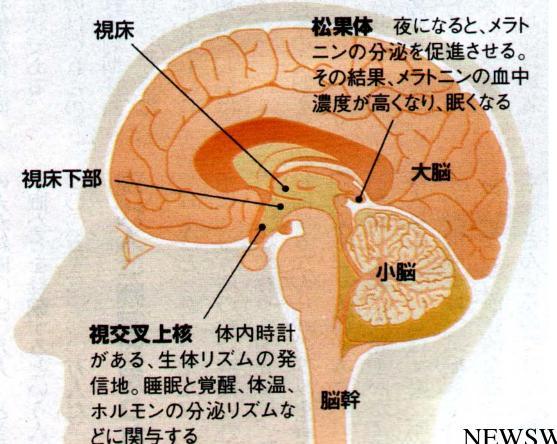


瀬川昌也。小児医学、1987、No.5。

瀬川昌也。神経進歩、1985、No.1

「目覚まし時計」は脳にある

人間の生体リズムをコントロールする体内時計は、1日約2 24.5時間のサイクルになっている。そのため脳の視交叉上核が毎朝、太陽の光を視覚で認識することによって生体リズムを1日24時間に調整している。



NEWSWEEK 1998, 9, 30

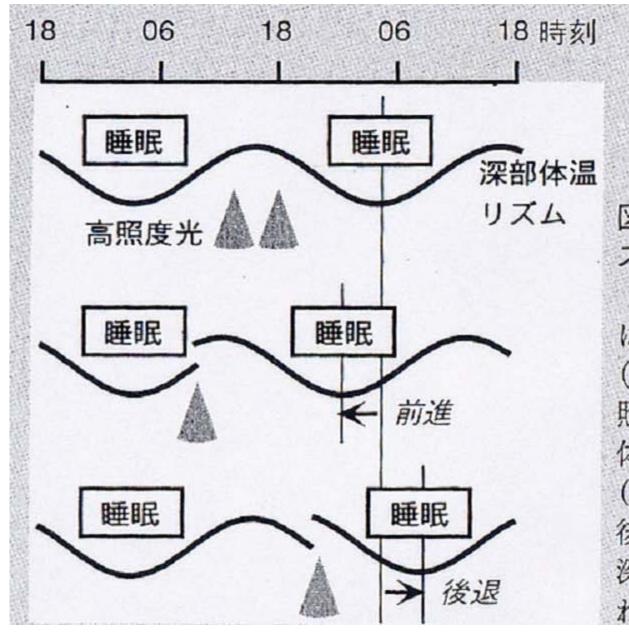
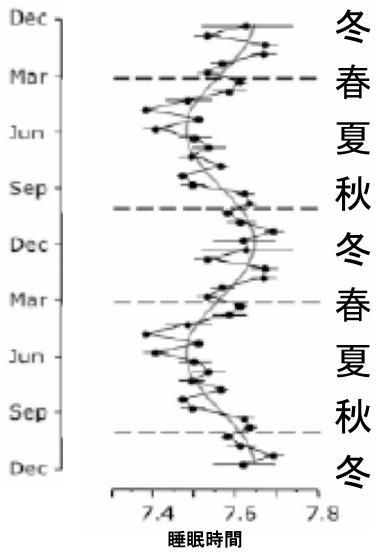


図 1 光によるヒト生物リ ズムの位相反応

日中の時間帯の高照度光は位相反応をおこさない (上段).早朝の時間帯に高 照度光を照射すると,深部 体温および睡眠相が早まる (中段).前夜の就寝時刻前 後に高照度光を照射すると 深部体温および睡眠相が遅 れる(下段).

内山真·亀井雄一。月刊臨床神経科学、2000、No10。



Current Biology 17, 1996-2000, November 20, 2007 @2007 Elsevier Ltd All rights reserved DOI 10.1016/j.cub.2007.10.025

Report

The Human Circadian Clock's Seasonal Adjustment Is Disrupted by Daylight Saving Time 冬の睡眠時間が長く、夏は少ない。 つまり春になると睡眠時間は短くなる。 春には活動量も増す。

> → 相対的に活動>睡眠で、 **睡眠が不足気味**?

+光が強まりメラトニン分泌増加?

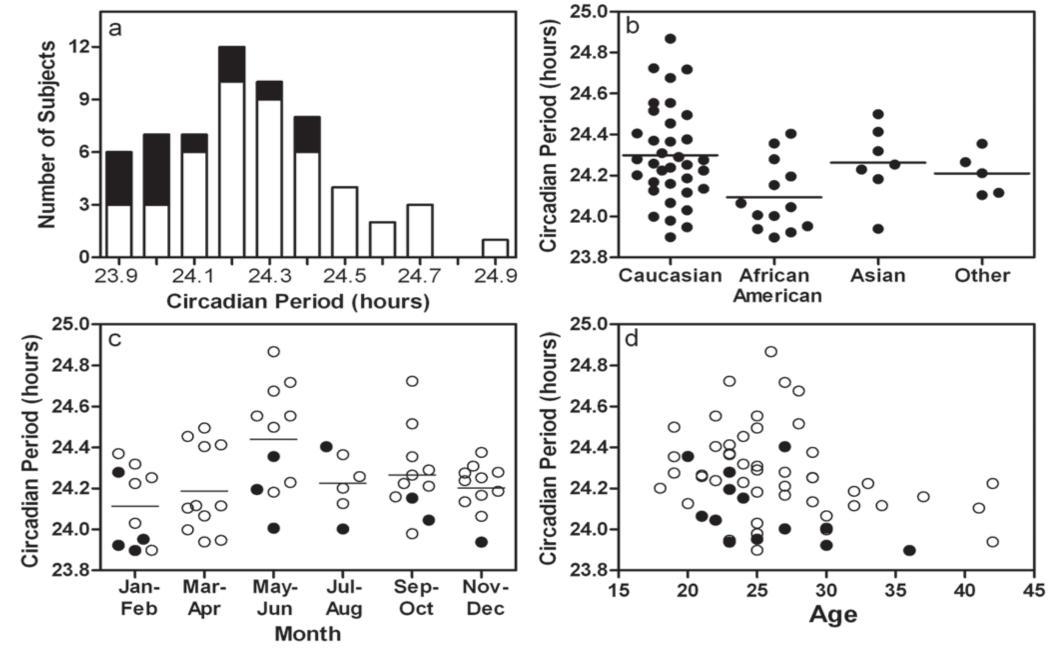
 \downarrow

春眠暁を覚えず!?

Thomas Kantermann,¹ Myriam Juda,¹ Martha Merrow,² and Till Roenneberg^{1,*}

¹Ludwig-Maximilian-University
Goethestrasse 31
D-80336 Munich
Germany

²Department of Chronobiology
University of Groningen
9750AA Haren
The Netherlands



Smith MR, Burgess HJ, Fogg LF, Eastman Cl. Racial differences in the human endogenous circadian period. PLoS One. 2009 Jun 30;4(6):e6014.

睡眠覚醒リズムと小児の行動 一CBCLによる評価ー

A study of the association between sleep habits and problematic behaviors in preschool children.

第48回日本小児神経学会 2006年6月2日 Chronobiology International 25(4);549-564, 2008.

方法

対象

- 東京近郊在住の4~6歳の男女児* 2群、各70名 (*自己申告で重篤な疾病等により入院、通院をしていない)
- ・民間市場調査会社の専属調査員22名が、調査員居住エリアを中心に、 下記条件に該当する児を募った。

A群 規則的生活児

B群の行動には1つもあてはまらない ほぼ毎日9時までに寝付いて、規則正しい生活をしている

B群 夜型·不規則生活児

次の行動のいずれか1つ以上にあてはまる

- ①大人と一緒に21時以降に外出することが週2回以上ある
- ②週4日以上、布団に入るのが23時以降になる
- ③外出先からの帰宅が週3日以上は21時以降になる
- 保護者のインフォームドコンセントを得た。
- ・謝礼を支払って協力を得た。

調査方法

2週間の子供の生活習慣(特に睡眠)に関する日誌子供と保護者の生活習慣等に関するアンケート CBCL日本語版/4-18

CBCL(Child Behavior Checklist:子供の行動チェックリスト)

- •行動の問題を数値化し、統計的に解析できる。
- •64ヶ国語に翻訳され、世界的にオーソライズされている。
- 広範囲な問題や症状を捉えることができる、日本で唯一の標準化された 行動評価尺度。

アンケート内容:過去6ヶ月以内もしくは現在の子供の状況について、113項目の質問に3段階で保護者が回答する。

			0=あてはまらない 1=ややまたはと	きと	ð.	あて	はまる 2=よくあてはまる
0	1	2	1.行動が年齢より幼すぎる	0	1	2	31.悪いことを考えたり、したりするか
0	1	2	2.アレルギー(具体的に書いて下さい):				もしれないと心配する
				0	1	2	32.完璧でなければいけないと思う
				0	1	2	33.誰も大切に思ってくれないと感じた
0	1	2	3.よく言い争いをする				り、こぼしたりする
0	1	2	4.ぜんそく	0	1	2	34.他人にねらわれていると感じる
0	1	2	5.男(女)子だが、女(男)子のようにふ	0	1	2	35.自分には価値がないか、劣っている
			るまう				ように感じる
0	1	2	6.トイレ以外で大便をする	l٥	1	2	36 上(ケガを) 東地においぬすい

因子別に集計

- ·上位尺度 (内向尺度、外向尺度、総得点)
- ・8つの症状群尺度 (ひきこもり、身体的訴え、不安/抑うつ・・・)



T得点に換算

- •T得点:得点の分布から 割り付けられた点数
- •T得点が高いほど、問題の ある可能性が高い

引用文献: 小児の精神と神経41(4),243-252,2001

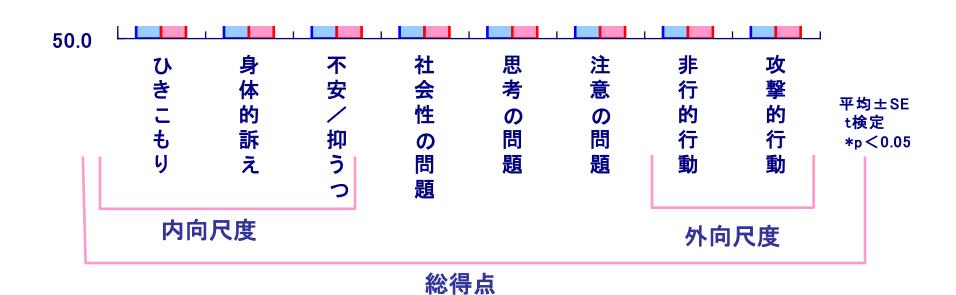
各群のCBCLのT得点(症状群尺度)

□A群:規則的生活児

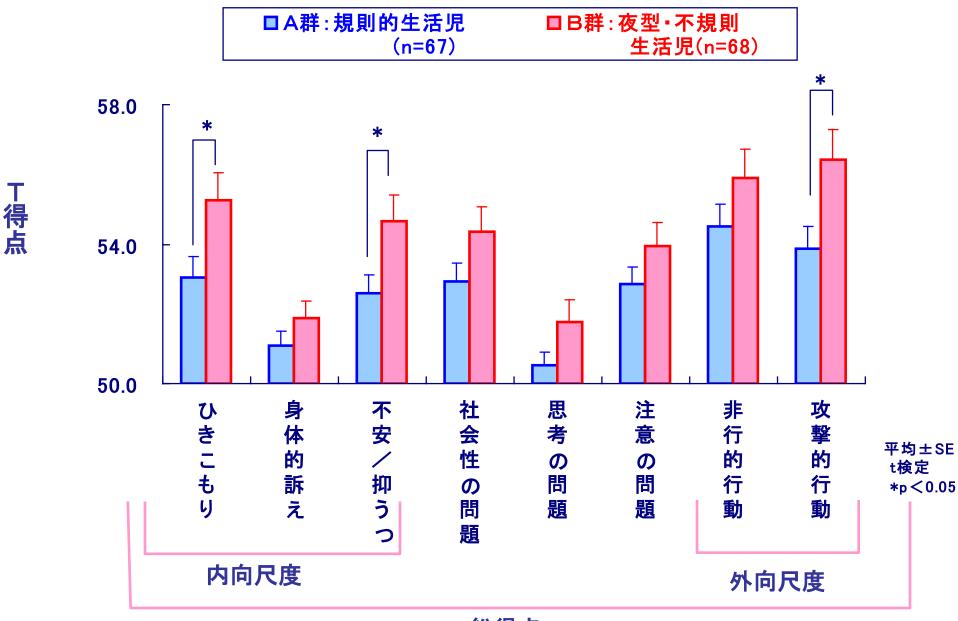
(n=67)

□B群:夜型•不規則

生活児(n=68)

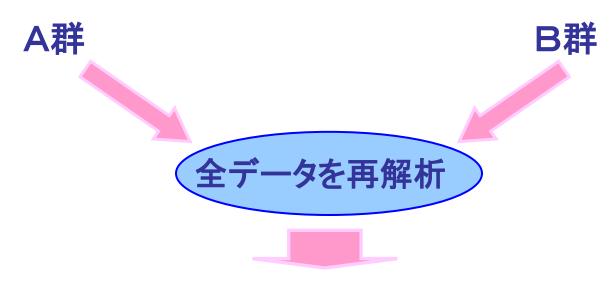


各群のCBCLのT得点(症状群尺度)



総得点

再解析方法



再解析項目

I:夜間睡眠時間/総睡眠時間

Ⅱ:就床時刻/起床時刻

Ⅲ: 就床時刻の変動幅/起床時刻の変動幅

方法:各項目の分布の上下1/4を取り出して比較

就床時刻

■早寝群:平均20時45分以前に就床 30名

遅寝群:平均23時以降に就床 30名

起床時刻

■早起き群:平均7時以前に起床 31名

■遅起き群:平均8時以降に起床 29名

内外総向向得尺尺点度度

内向尺度

外向尺度

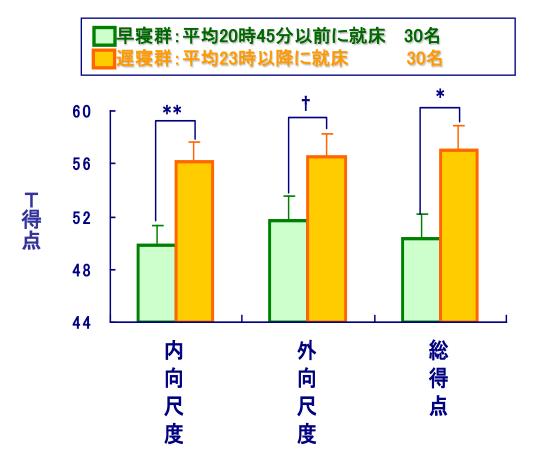
総 得 ₋

平均値±SE t検定 **p<0.01

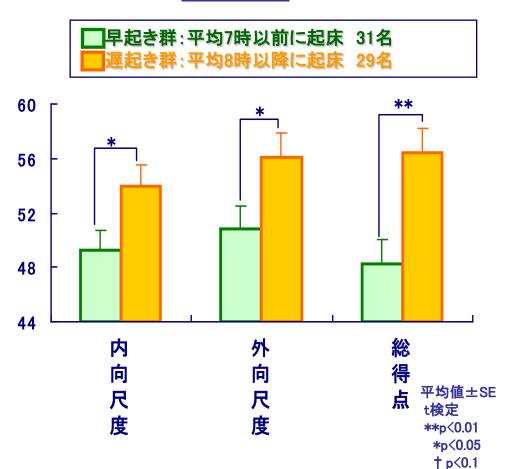
*p<0.05 † p<0.1

就床・起床時刻の影響



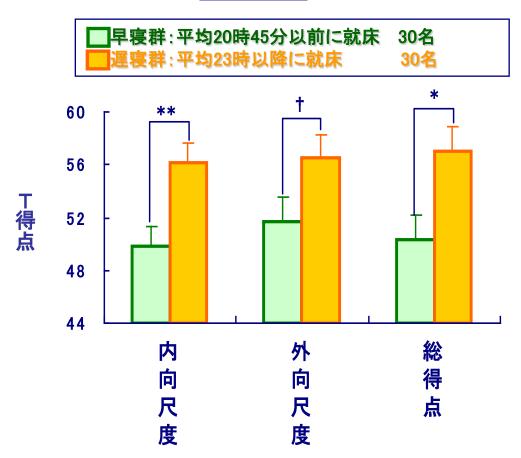


起床時刻



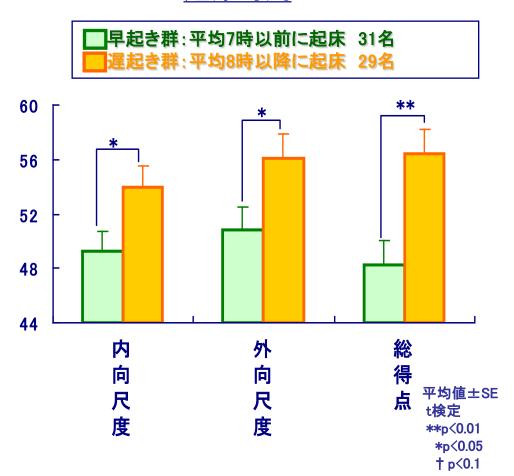
就床・起床時刻の影響

就床時刻



特に、「ひきこもり」「不安/抑うつ」で 遅寝群のT得点が有意に高かった。

起床時刻



「身体的訴え」以外の尺度で、 遅起きのT得点が有意に高かった。

就床時刻の変動幅

起床時刻の変動幅

■変動幅小群:就床時刻の変動幅が1時間15分以下(39名)

変動幅大群: "3時間以上(31名)

】変動幅小群:起床時刻の変動幅が1時間以下(42名)

変動幅大群:

2時間以上(48名)

44

内 向 尺 度 総得点

内向尺度

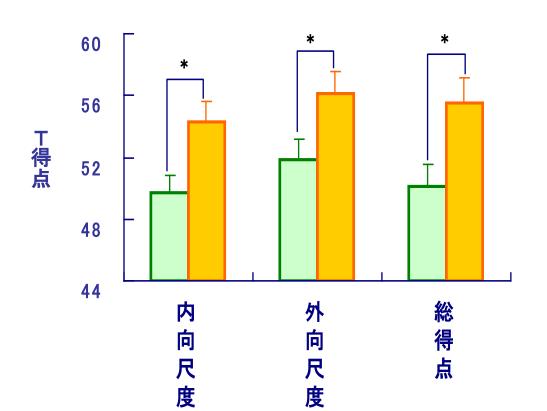
外向尺度

総得占

平均値±SE t検定 *p<0.05

就床時刻の変動幅

変動幅小群:就床時刻の変動幅が1時間15分以下(39名) 変動幅大群: "3時間以上(31名)

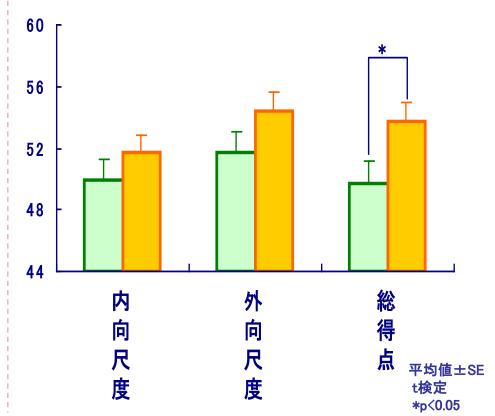


起床時刻の変動幅





2時間以上(48名)



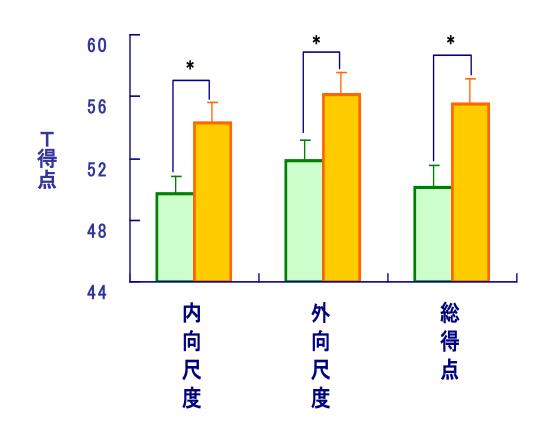
就床時刻の変動幅

変動幅小群:就床時刻の変動幅が1時間15分以下(39名)

」変動幅大群:

//

3時間以上(31名)



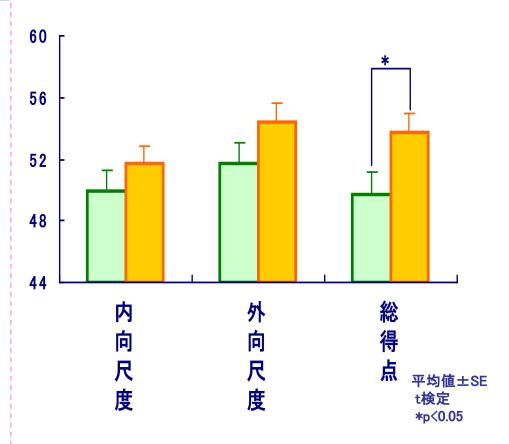
「身体的訴え」以外の尺度で、 変動幅大群のT得点が有意に高かった。

起床時刻の変動幅

■変動幅小群:起床時刻の変動幅が1時間以下(42名)

変動幅大群: "

2時間以上(48名)



変動幅大群でT得点が有意に 高かったのは「注意の問題」のみ。

長い群:平均10時間半以上 31名短い群:平均 9時間以下 32名

■長い群:平均10時間52分以上 32名 ■短い群:平均 9時間40分以下 36名

T 得 点

內向尺度

外向尺度

総得点

向尺度

パ向尺度

松得点

平均値±SE t検定 すべてNS

睡眠時間の影響

夜間睡眠時間

総睡眠時間(夜間+午睡)

長い群:平均10時間52分以上 32名 短い群:平均 9時間40分以下 36名

長い群:平均10時間半以上 31名 短い群:平均 9時間以下

32名

T 得 点

内 向 向 尺 尺

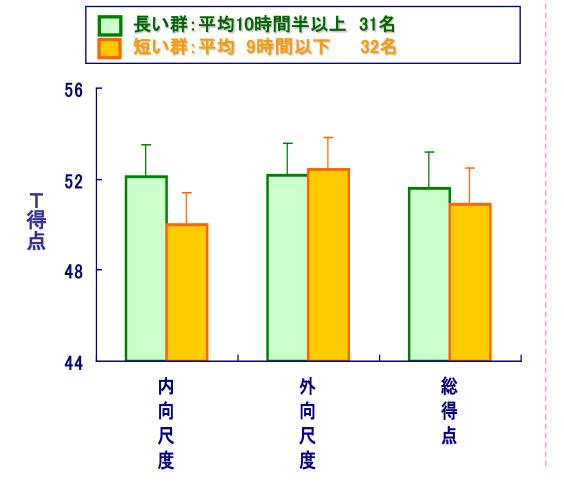
KA 向 尺 71 向 尺

TYC 得

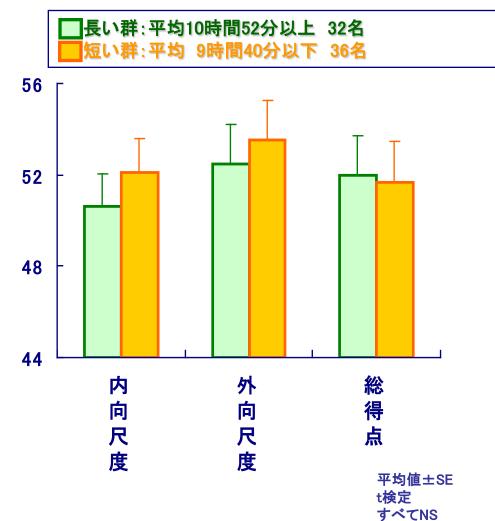
> 平均值±SE t検定 すべてNS

睡眠時間の影響





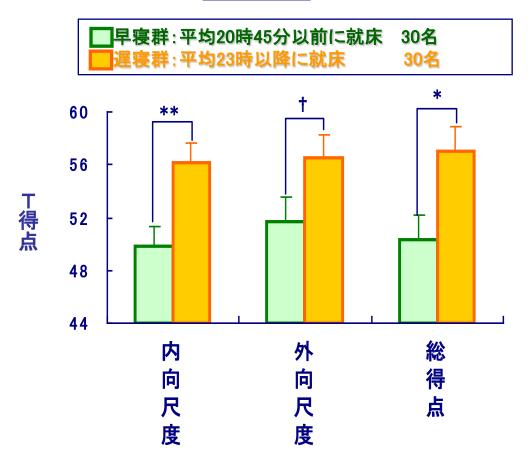
総睡眠時間(夜間+午睡)



症状群尺度にも有意な差はなし

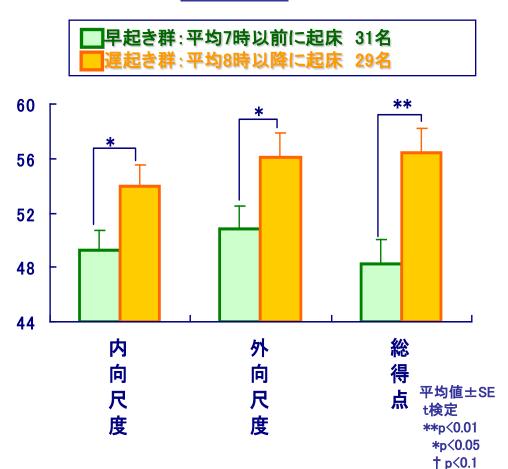
就床・起床時刻の影響

就床時刻



特に、「ひきこもり」「不安/抑うつ」で 遅寝群のT得点が有意に高かった。

起床時刻



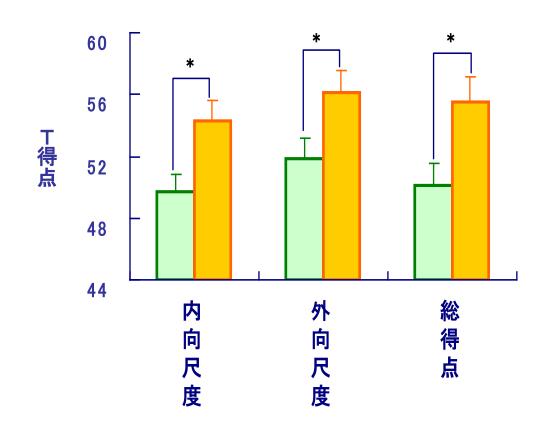
「身体的訴え」以外の尺度で、 遅起きのT得点が有意に高かった。

就床時刻の変動幅

| 変動幅小群:就床時刻の変動幅が1時間15分以下(39名)

|変動幅大群:

3時間以上(31名)



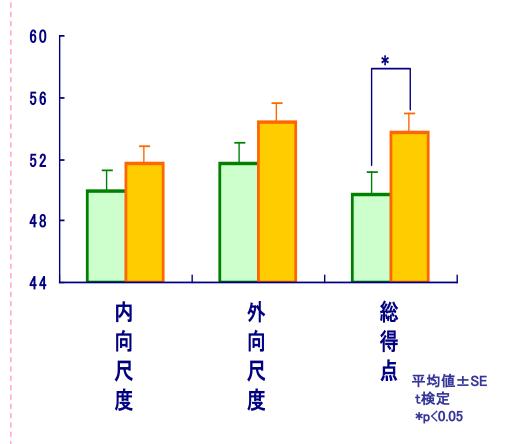
「身体的訴え」以外の尺度で、 変動幅大群のT得点が有意に高かった。

起床時刻の変動幅

■変動幅小群:起床時刻の変動幅が1時間以下(42名)

変動幅大群:

2時間以上(48名)



変動幅大群でT得点が有意に 高かったのは「注意の問題」のみ。

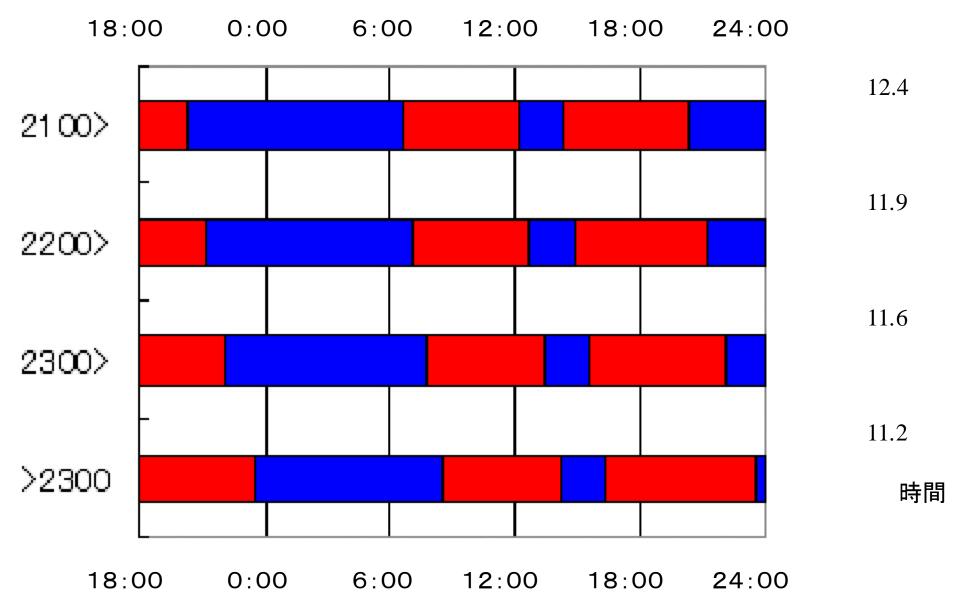
まとめ

- ◆睡眠が子供の行動面の発達に与える影響を明らかにするため、A規則的生活児、 B夜型・不規則児の2群で、CBCLを用いた調査を行った。 その結果、B群では、A群に比べてT得点が高い傾向にあり、特にひきこもり、不安 /抑うつ、攻撃的行動の尺度において、有意に高いことがわかった。 このことから、B群の児はA群に比べ、行動面に問題がある傾向にあり、2群間の背景 因子で差のあった、睡眠習慣の乱れが、原因であると推察された。
- ◆A, B群の全データを、再解析した結果、次のことが分かった。
 - ①睡眠時間の長さでは、T得点に有意な差は無かった。
 - ②<u>就床、起床時刻が遅い児で、</u>早い児に比べてT得点が高く、<u>行動面に問題のある</u> 可能性が高かった。
 - ③<u>就床時刻の変動幅が大きい児で、</u>小さい児に比べT得点が高く、<u>行動面に問題のある可能性が高かった。</u>
- ◆睡眠習慣の乱れは、行動面に悪影響をおよぼすことが懸念されていたが、本結果は、 それを支持するものと考える。

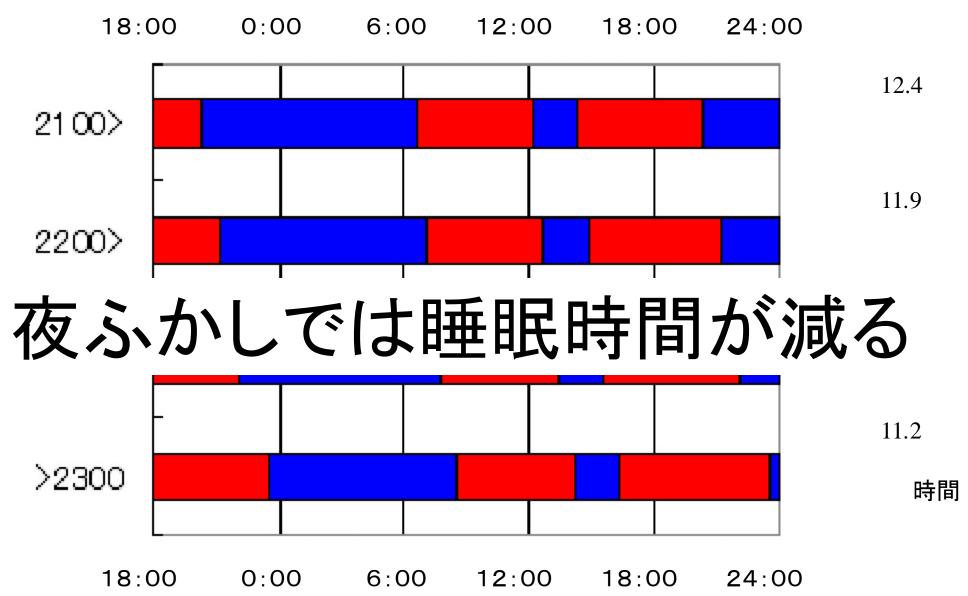
以上から、「規則正しく、早く寝る」「朝、早く起きる」ことが 小児の問題行動減少に寄与することが示唆された。

報告者(報告年)	対象	夜型では・・・・
Giannottiວິ (2002)	イタリアの高校生6631人	注意力が悪く、成績が悪く、イライラしやすい。
Wolfson ら (2003)	中学生から大学生	あるかし朝寝坊で <mark>学力低下</mark> 。
Gauら (2004)	台湾の4-8年生1572人	moodiness(気難しさ、むら気、不機嫌)との関連が男子で強い。
原田(2004)	高知の中学生613人	「落ち込む」と「イライラ」の頻度が高まる。
Caciら(2005)	フランスの学生552人	度合いが高いほど <mark>衝動性</mark> が強い。
Gainaら(2006)	富山の中学生 638人	入眠困難、短い睡眠時間、朝の気分の悪さ、日中の眠気と関連。
Gauら (2007)	台湾の12, 13年生1332人	行動上・感情面での問題点が多く、自殺企図、薬物依存 も多い。
Susman ら(2007)	米国の8-13歳111人	男児で反社会的行動、規則違反、注意に関する問題、 行為障害と関連し、女児は攻撃性と関連する。

1歳6ヶ月児の睡眠覚醒リズム



1歳6ヶ月児の睡眠覚醒リズム



睡眠不足の問題点は?

睡眠の心身への影響

睡眠の研究方法の問題点 4時間睡眠で6晩(8,12時間睡眠と比較

→ 耐糖能低下(糖尿病)、夕方のコルチゾール低下不良(→肥満)、 交感神経系活性上昇(高血圧)、ワクチンの抗体産生低下(免疫能低下)

→ 老化と同じ現象

Impact of sleep debt on metabolic and endocrine function

Summary

Background Chronic sleep debt is becoming increasingly ___ common and affects millions of people in more-developed countries. Sleep debt is currently believed to have no adverse effect on health. We investigated the effect of sleep debt on metabolic and endocrine functions.

Methods We assessed carbohydrate metabolism, thyrotropic function, activity of the hypothalamo-pituitary-adrenal axis, and sympathovagal balance in 11 young men after time in bed had been restricted to 4 h per night for 6 nights. We compared the sleep-debt condition with measurements taken at the end of a sleep-recovery period when participants were allowed 12 h in bed per night for 6 nights.

Findings Glucose tolerance was lower in the sleep-debt condition than in the fully rested condition (p<0·02), as were thyrotropin concentrations (p<0·01). Evening cortisol concentrations were raised (p=0·0001) and activity of the sympathetic nervous system was increased in the sleep-debt condition (p<0·02).

Interpretation Sleep debt has a harmful impact on carbohydrate metabolism and endocrine function. The effects are similar to those seen in <u>normal ageing</u> and, therefore, sleep debt may increase the severity of age-related chronic disorders.

Lancet 1999 354: 1435-39

ARCHIVES OF INTERNAL MEDICINE Links

毎日新聞

Arch Intern Med. 2009 Jan 12;169(1):62-7.

7時間未満…8時間以上の2.9倍

うたた寝「あり」…「ほとんどなし」の5.5倍

□ 1: Arch Intern Med. 2009 Jan 12;169(1):62-7.

Sleep habits and susceptibility to the common cold.

Cohen S, Doyle WJ, Alper CM, Janicki-Deverts D, Turner RB.

Department of Psychology, Carnegie Mellon University, Pittsburgh, PA 15213, USA. scohen@cmu.edu

BACKGROUND: Sleep quality is thought to be an important predictor of immunity and, in turn, susceptibility to the common cold. This article examines whether sleep duration and efficiency in the weeks preceding viral exposure are associated with cold susceptibility. METHODS: A total of 153 healthy men and women (age range, 21-55 years)

volunteered to participate in the study. For 14 consecutive days, they reported their sleep duration and sleep efficiency (percentage of time in bed actually asleep) for the previous night and whether they felt rested. Average scores for each sleep variable were calculated over the 14-day baseline. Subsequently, participants were quarantined, administered nasal drops containing a rhinovirus, and monitored for the development of a clinical cold (infection in the presence of objective signs of illness) on the day before and for 5 days after exposure. RESULTS: There was a graded association with average sleep duration: participants with less than 7 hours of sleep were 2.94 times (95% confidence interval [CI], 1.18-7.30) more likely to develop a cold than those with 8 hours or more of sleep. The association with sleep efficiency was also graded: participants with less than 92% efficiency were 5.50 times (95% CI, 2.08-14.48) more likely to develop a cold than those with 98% or more efficiency. These relationships could not be explained by differences in prechallenge virus-specific antibody titers, demographics, season of the year, body mass, socioeconomic status, psychological variables, or health practices. The percentage of days feeling rested was not associated with colds. CONCLUSION: Poorer sleep efficiency and shorter sleep duration in the weeks preceding exposure to a rhinovirus were associated with lower resistance to illness.

Invited Review

J Appl Physiol 99: 2008-2019, 2005; doi:10.1152/japplphysiol.00660.2005.

HIGHLIGHTED TOPIC | Physiology and Pathophysiology of Sleep Apnea

Sleep loss: a novel risk factor for insulin resistance and Type 2 diabetes

Karine Spiegel, Kristen Knutson, Rachel Leproult, Esra Tasali, and Eve Van Cauter

¹Laboratoire de Physiologie, Centre d'Etude des Rythmes Biologiques (CERB), Université Libre de Bruxelles, Belgium; and ²Department of Medicine, University of Chicago, Chicago, Illinois

> Spiegel, Karine, Kristen Knutson, Rachel Leproult, Esra Tasali, and Eve Van Cauter. Sleep loss: a novel risk factor for insulin resistance and Type 2 diabetes. J Appl Physiol 99: 2008–2019, 2005; doi:10.1152/japplphysiol.00660.2005.—Chronic sleep loss as a consequence of voluntary bedtime restriction is an endemic condition in modern society. Although sleep exerts marked modulatory effects on glucose metabolism, and molecular mechanisms for the interaction between sleeping and feeding have been documented, the potential impact of recurrent sleep curtailment on the risk for diabetes and obesity has only recently been investigated. In laboratory studies of healthy young adults submitted to recurrent partial sleep restriction, marked alterations in glucose metabolism including decreased glucose tolerance and insulin sensitivity have been demonstrated. The neuroendocrine regulation of appetite was also affected as the levels of the anorexigenic hormone leptin were decreased, whereas the levels of the orexigenic factor ghrelin were increased. Importantly, these neuroendocrine abnormalities were correlated with increased hunger and appetite, which may lead to overeating and weight gain. Consistent with these laboratory findings, a growing body of epidemiological evidence supports an association between short sleep duration and the risk for obesity and diabetes. Chronic sleep loss may also be the consequence of pathological conditions such as sleep-disordered breathing. In this increasingly prevalent syndrome, a feedforward cascade of negative events generated by sleep loss, sleep fragmentation, and hypoxia are likely to exacerbate the severity of metabolic disturbances. In conclusion, chronic sleep loss, behavioral or sleep disorder related, may represent a novel risk factor for weight gain, insulin resistance, and Type 2 diabetes.

> obstructive sleep apnea; sympathovagal balance; glucose metabolism; appetite regulation; obesity

成19年(2007年)9月13日 木曜日

米・シカゴ大バンコータ 危険性を指摘



このほど「不眠がもたらす内分泌疾患への影響」といって、米国シカゴ大学のイブ・パンコーター博

める



12版 [企画特集] 18

睡

寝ないと 太る

Taheri S, Lin L, Austin D, Young T, Mignot E.

Short sleep duration is associated with reduced leptin, elevated ghrelin, and increased body mass index.

PLoS Med. 2004 Dec;1(3):e62.

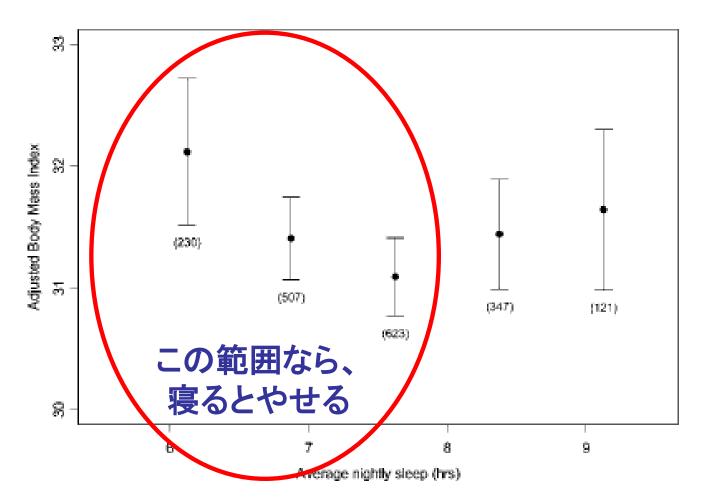


Figure 2. The Relationship between BMI and Average Nightly Sleep

Mean BMI and standard errors for 45-min intervals of average nightly sleep after adjustment for age and sex. Average nightly sleep values predicting lowest mean BMI are represented by the central group. Average nightly sleep values outside the lowest and highest intervals are included in those categories. Number of visits is indicated below the standard error bars. Standard errors are adjusted for within-subject correlation.

睡眠時間と各教科の平均点(広島県の小5基礎基本調査より)

		5時間以下	5 時間	6時間	7時間	8時間	9 時間	10時間 以上	
围	語	52	62	66	70	71	70	65	
算	数	54	66	70	74	74	74	68	

説明に立つ陰山英男校長 尾道市立土堂小の入学希望保護者説明会で

感じる子供が比較的多いと 中学三年生に、イライラを 子いとされる小学五年生や 書や政學的な行動の報告が た。生活習慣が精神状態に たりしていることが、都立 兄格好だ。また、段繁坊 影響するとは言われるが、 教育研究所の調査でわかっ かしをしたり、朝食を抜い い小中学生の多くが、夜更 など、イライラを感じやす **人規模な調査でそれを裏付** 「キレる」「ムカつく」

生活習慣、気持ちに影響

まで約二壬三百人を対象に 小学四年生から中学三年生子供の心理調査は都内の

> つ感などを点数化した。 め、イライラや不安・抑ら

せた。

寝るのは12時過ぎ

朝食抜き

という三段階で答えを求 八項目の質問に、

したくなる」といった五十 「何となく大声を出 「よくあ

「わけもなくムカ が上がるに従って高まる個 生の七・七一が小学五年で 原束で点数化すると、単年 向があった。特に小学四年

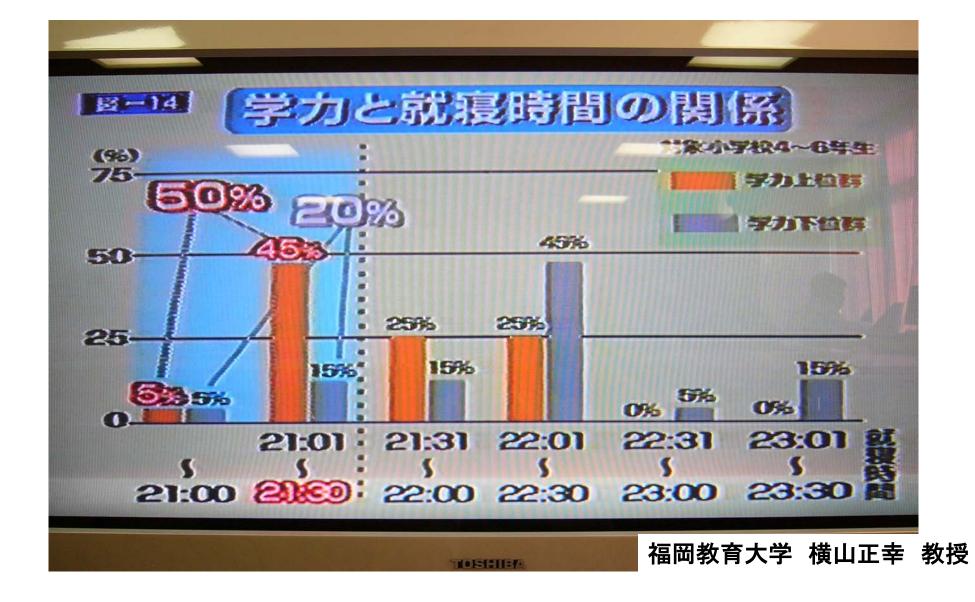
大規模な調査で裏付け 関係を調べた。就採時間が に生活実態とイライラ際の 小中学生物子九百人を対象 一年日か「よく」を七二

町を過ぎると答えた子供は き」ともに五朝を超る ワイラ盛の路い子供の

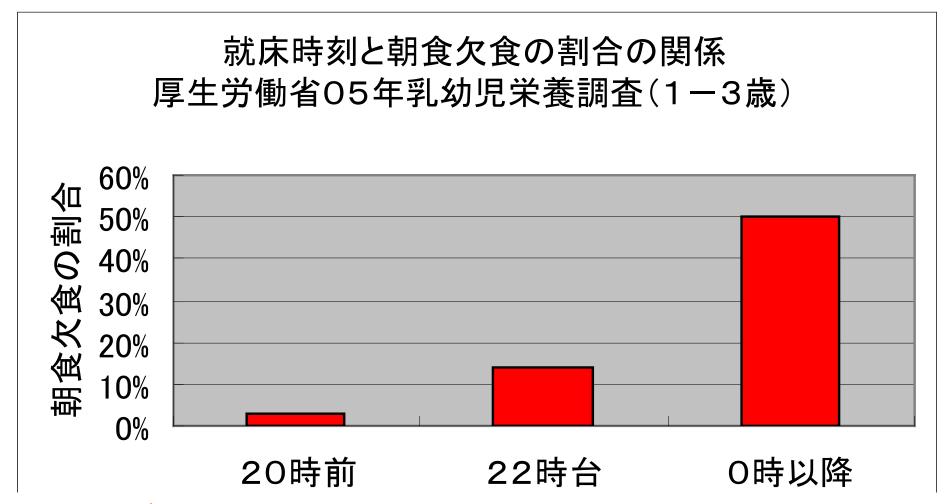
「まったく食べない」と思 ついて聞べると、 近い子供ほど明食抜 も高かった。 **子供は、登学年で一** 九・二%で、就経 イライラ感が強いて

・六四に、顕著な上昇をみ 一方、小学芸学長さあ を超えた。また、 り、中学三年生では が進むにつれて比密 ス

立った小5と中2



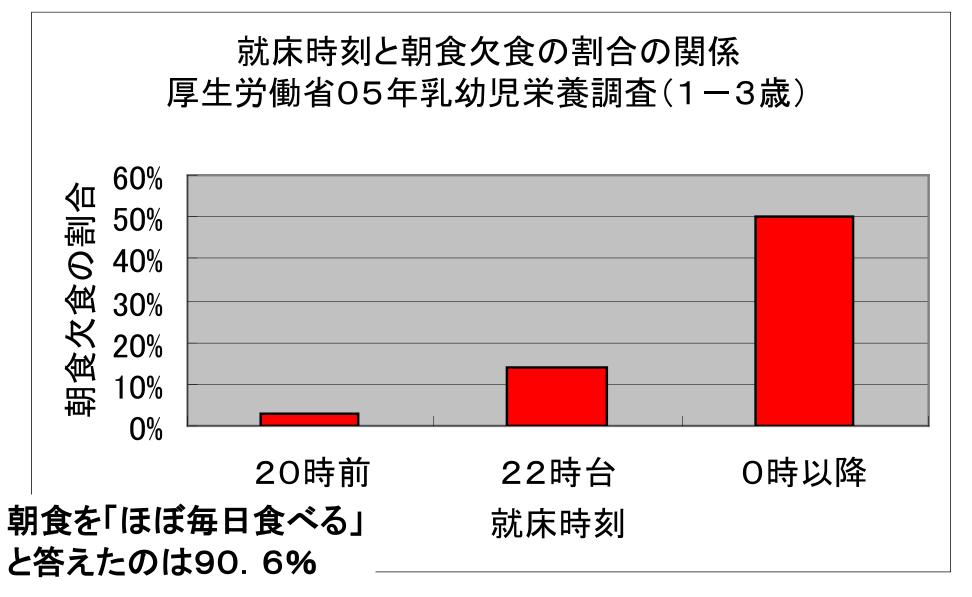
ヒトは寝ないと活動の質が高まりません。



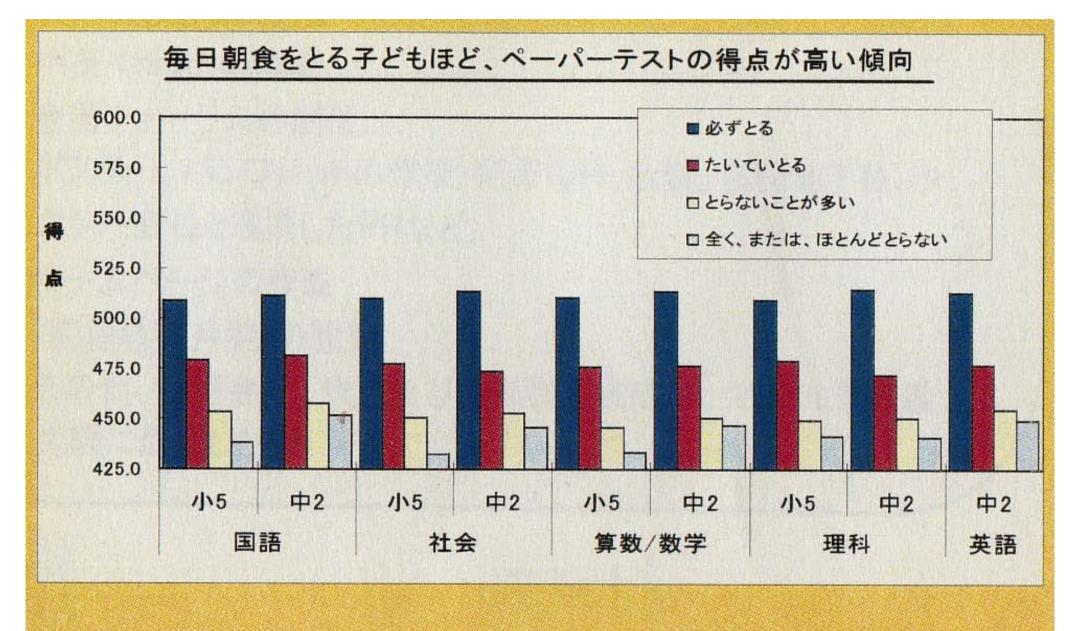
朝食を「ほぼ毎日食べる」と答えたのは90.6%

朝食欠食率(04年調査)は全体で10.5%に上り、子どもでは10代後半で12.4%、

1~6歳で5.4%、7~14歳で3%であった。(2006.11.24 食育白書)



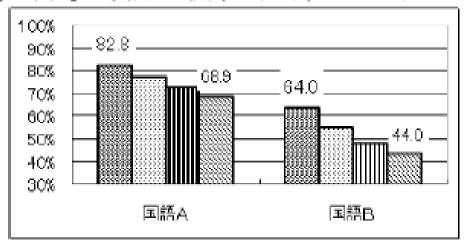
ヒトは寝ないと食べることができない。

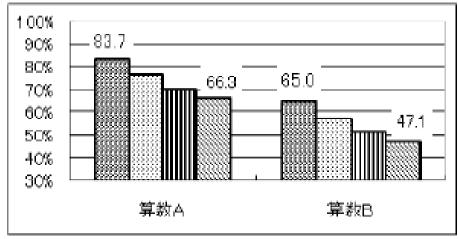


調査対象: 小学生 約21万1千人(小学5·6年生各約10万人)、 中学生 約24万人(各学年約8万人)

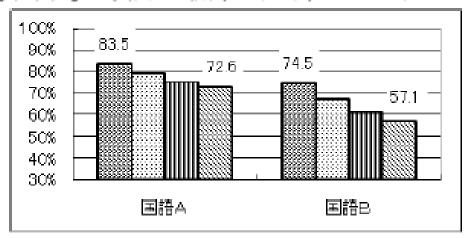
〇朝食を毎日食べる児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。

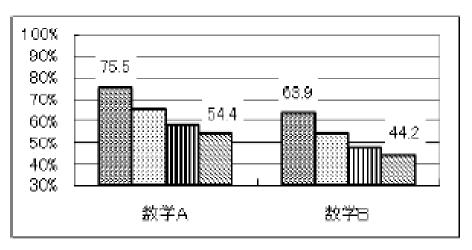
【小学校】*質問1:朝食を毎日食べていますか



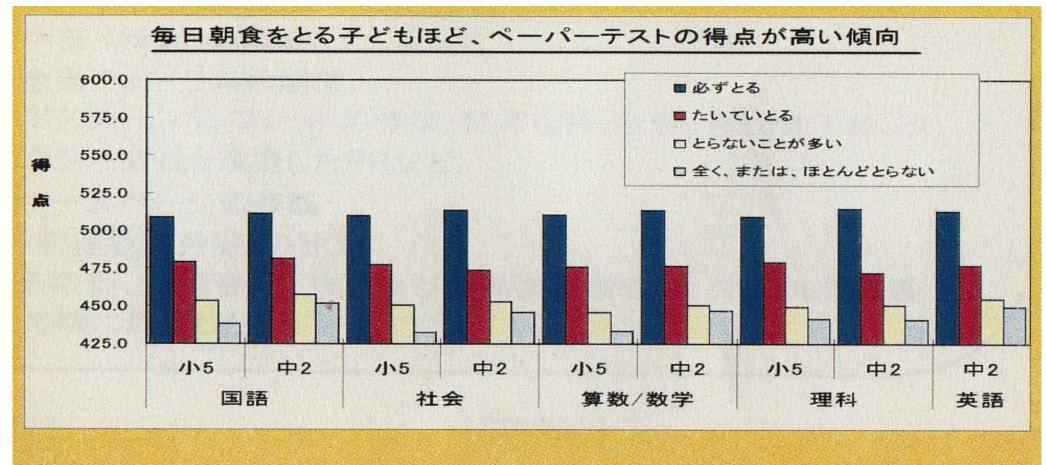


【中学校】*質問1:朝食を毎日食べていますか









調査対象: 小学生 約21万1千人(小学5·6年生各約10万人)、 中学生 約24万人(各学年約8万人)

朝食をとったかどうか

→ あくまで生活習慣がきちんとしているかどうかのひとつの目安。 朝食さえとればすべてがうまくいくわけではありません。 ヒトは寝て食べてはじめて活動できる動物です。



Michael Phelps (北京五輪競泳で前人未到の8冠) told: "Eat, sleep and swim, that's all I can do." (僕にできるのは食べて寝て、泳ぐこと)

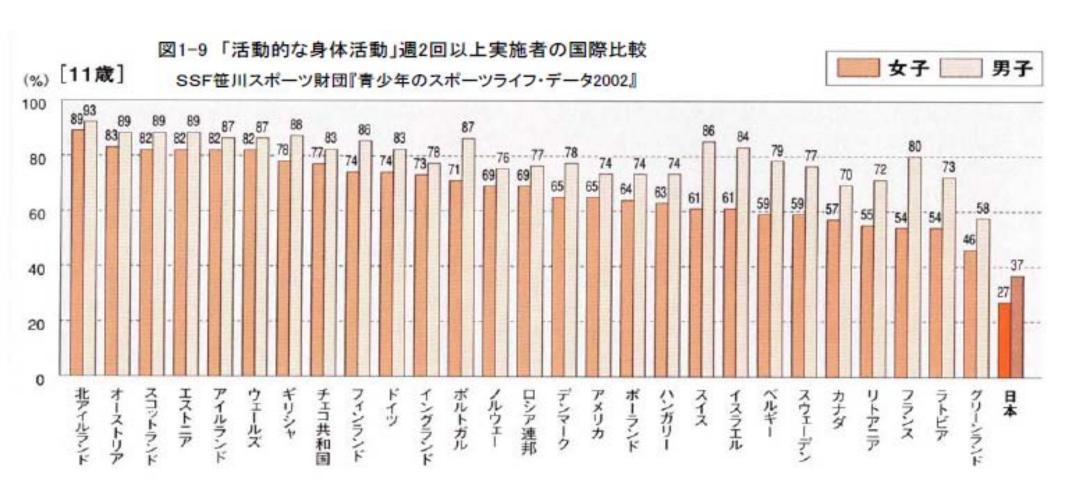
腹時計!?

ラットは夜行性です。そこでラットは通常昼間にはえさを 摂りません。ただし、えさを夜に与えないで、昼間にの み与えるようにすると、夜行性のラットでも昼間にえさ を摂るようになります。「腹時計」に従った行動です。

慣れ、と考えられていました。

ところが最近、視床下部の背内側核がえさを摂るタイミング(食事のタイミング)に合わせた時刻を刻んで、動物の行動をコントロールしていることがわかりました。約48時間は食事を摂った時刻を記憶しているようです。

日本の子どもは世界で一番身体をうごかしていない



週2回以上30分以上心拍数が120を越える運動

7) 子どものからだと心・連絡会議:子どものからだと心白書 2006

全体的に低下傾向であるが、特に小学生(11歳)の運動能力の著しい低下傾向が現れている。

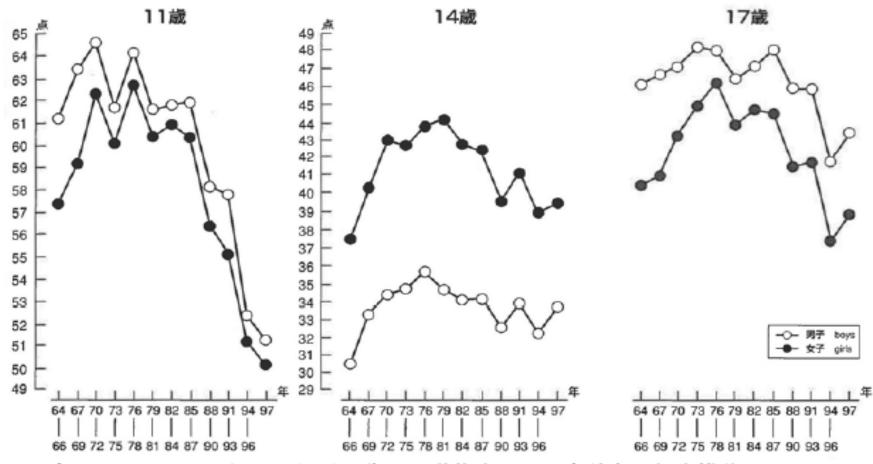
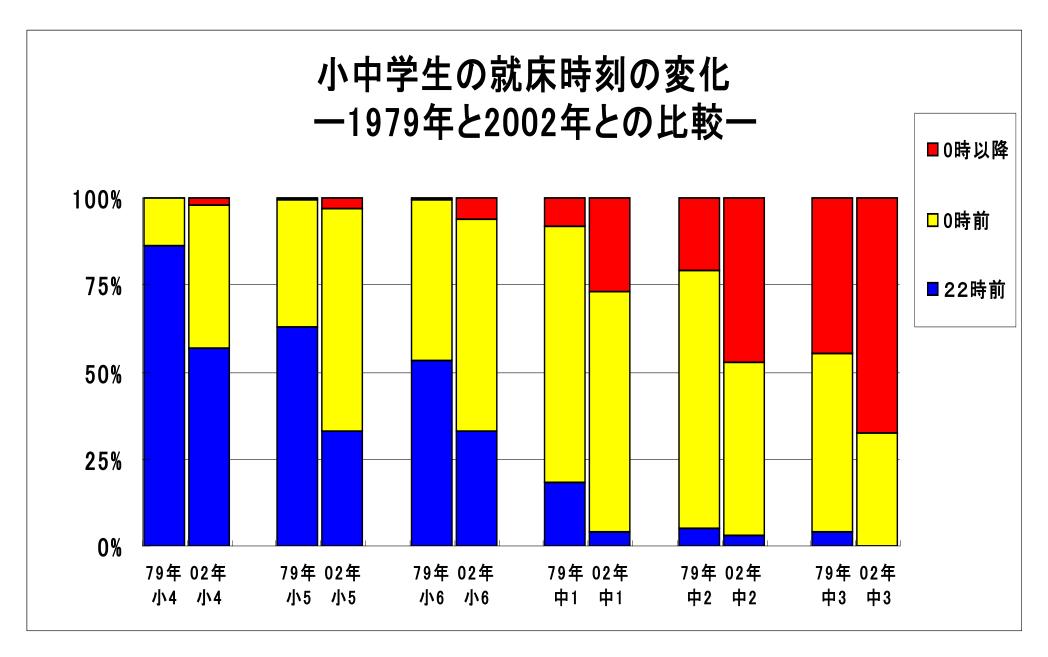


図 1-2-7)-1 スポーツテストにおける 11/14/17 歳の運動能力テスト合計点の年次推移 (文部省(1997 年当時)『体力・運動能力調査報告書』から)

今の子どもたちの状況

2005年子ども白書によると

- 1979年には保育園に通う児の
 - 8.1%が朝からあくびをし、
 - 10.5%がすぐに疲れた、と訴えた。
- 2000年にはこの数字はそれぞれ 53.2%と76.6%に上昇した。



東京民研学校保健部会・東京総合教育センター 2004・3

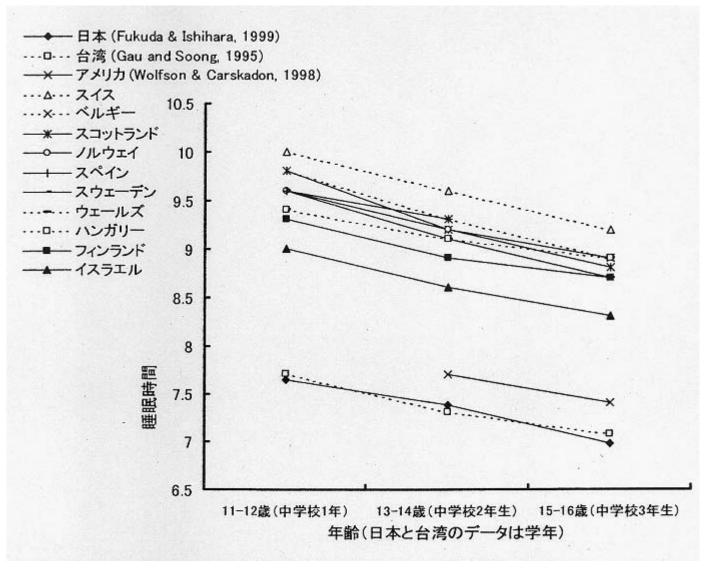


図12 各国における思春期の若者の夜間睡眠時間(ヨーロッパのデータはTynjala *et al.*, 1993より引用)⁽⁹⁾

スイスは手ごわい 文芸春秋2007.12 大坪千夏 (アナウンサー)

夜更かしをする人 は少ないのか 夜10時を過ぎると ひっそりとして、 まるで日本の正月 のような静けさだ。

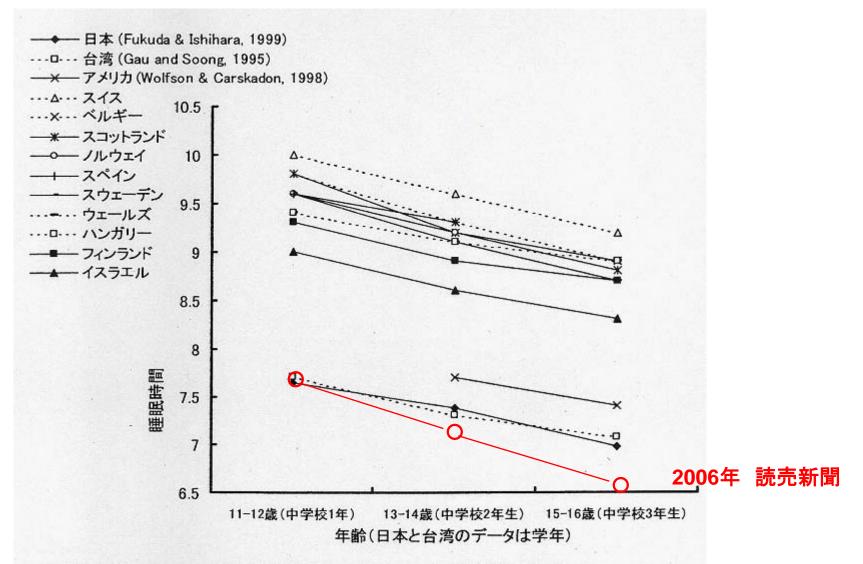


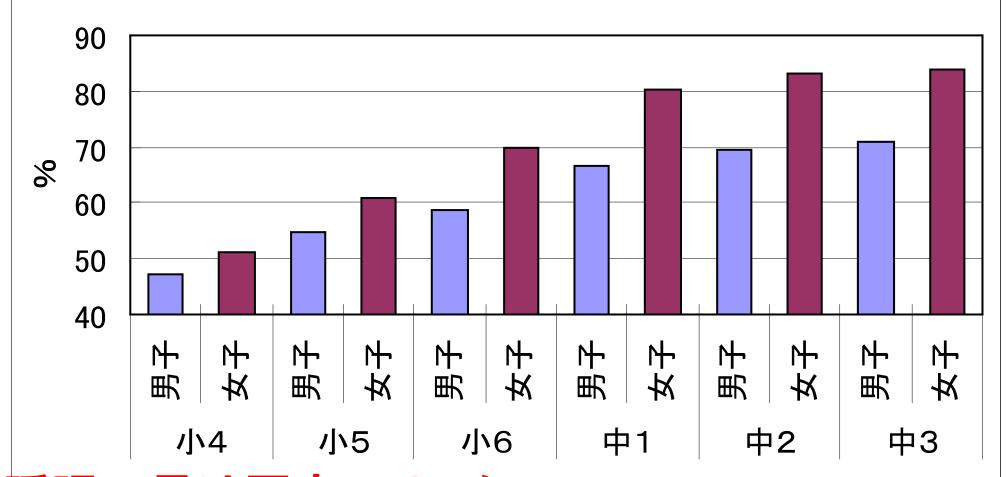
図12 各国における思春期の若者の夜間睡眠時間(ヨーロッパのデータはTynjala *et al.*, 1993より引用)⁽⁹⁾

日米中の高校生各1000人に聞きました。

問34 あなたはふだん、何時ごろ寝ますか?一つだけ選んでください。

	日本	米国	中国
1) 午後9時前	0.8	3.9	1.5
2) 9時過ぎ~10時頃	2. 8	18.0	9. 4
3) 10時過ぎ~11時頃	12. 3	38. 3	42. 6
4) 11時過ぎ~0時頃	25. 2	22. 0	35. 9
5) 0時過ぎ~1時頃	35. 6	8. 4	7. 8
6) 1時過ぎ~2時頃	16. 2	3.9	1. 2
7) 2時過ぎ~	6. 7	1.4	1.1
無回答	0. 3	4. 1	0. 5

3,4時間目に眠くなりますか?よくある・時々ある



睡眠不足は国家のリスク 2005年東京都養護教諭研究会



今の小中学生の65%が「睡眠時間をもっと増やしたい」と答え、10年前に比べゆとりのない生活を送っていることが、民間の研究所が行った子どもたちの意識調査でわかりました。

Q:寝不足だと思う、Ans:ハイ 小学生(1522人) 47.3% 中学生(1497人) 60.8%

高校生(928人) 68.3% 2006年 全国養護教員会 調べ

寝不足の原因

- 小学生(720人)
 - ①眠れない(43.8%)、②テレビ・ビデオ(39.3%)、
 - ③勉強(26.3%)、④家族の寝る時刻が遅い(22.6%)、
 - ⑤本・マンガ(21.9%)
- 中学生(910人)
 - ①テレビ・ビデオ(44.5%)、②勉強(32.2%)、
 - ③眠れない(31.1%)、4本・マンガ(25.9%)、
 - ⑤電話・メール(23.3%)
- 高校生(634人)
 - ①電話・メール(42.4%)、②テレビ・ビデオ(38.8%)、
 - ③眠れない(27.1%)、④勉強(23.2%)、⑤本・マンガ(21.0%)

不適切な睡眠衛生

- 以下の適切な睡眠衛生からの逸脱による不眠。
- 適切な睡眠衛生の基本は、 朝日の受光、 昼間の心身の活動、 規則的で適切な食事、 夜間の適切な睡眠環境(暗 さ、静けさ、温度、湿度)。
- 不適切な薬物(含むアルコール)使用も、当然睡眠衛生の基本に反する。

と睡眠不足症候群

- 睡眠不足症候群は、正常な 覚醒状態維持のために必要 な夜間の睡眠をとることが出 来ず昼間に眠気が生じる。
- 患者自身は慢性の睡眠不足にあることを自覚していない。
- ・症状:攻撃性の高まり、 注意・集中力・意欲の低下、 疲労、落着きのなさ、協調不 全、倦怠、食欲不振、胃腸障 害などが生じ、その結果さら に不安や抑うつが生じる場合 もある。
- 睡眠を十分とれる週末や休暇時には症状は軽快する。

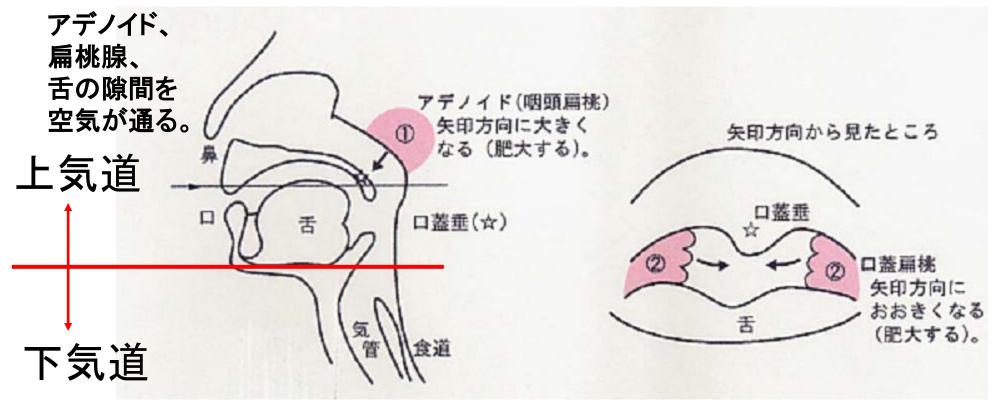
不適切な睡眠衛生 と 睡眠不足症候群

- 以下の適切な睡眠衛生からの逸脱による不眠。
- 適切な睡眠衛生の基本は、
- ・ 睡眠不足症候群は、正常な 覚醒状態維持のために必要 な変間の睡眠をよることが出

日本の子どもたちは、 不適切な睡眠衛生に起因する 睡眠不足症候群!?

に不安や抑うつが生じる場合もある。

睡眠を十分とれる週末や休 暇時には症状は軽快する。

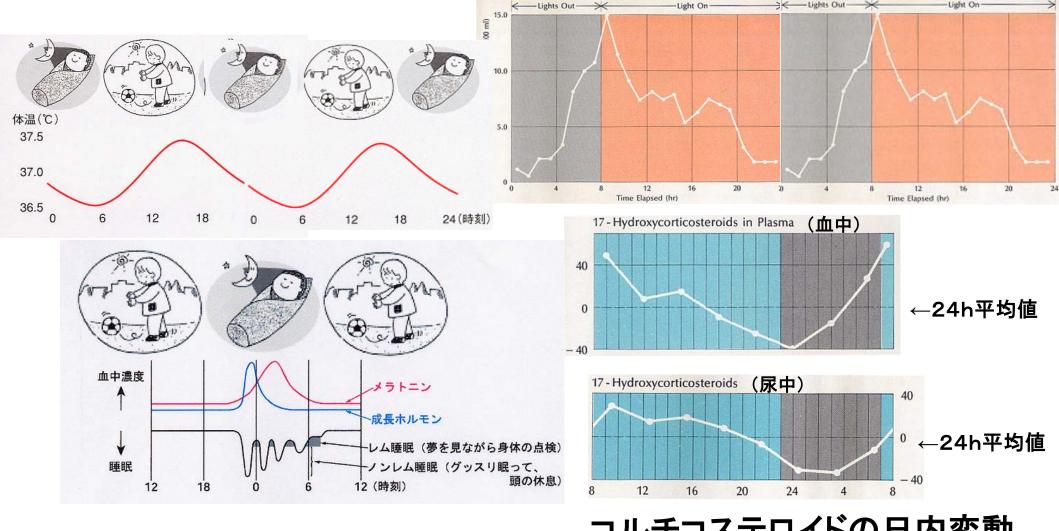


気管支軟骨があり、土管のようなしっかりとした作り。

メラトニン

• 酸素の毒性から細胞を守り、眠気をもたらすホルモン

様々な概日リズム(睡眠・覚醒、体温、ホルモン)の相互関係



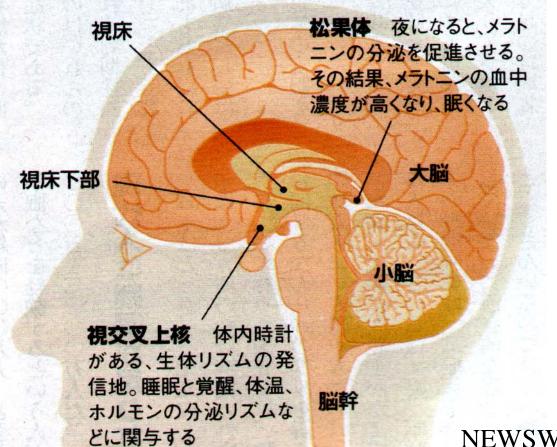
朝の光で周期24.5時間の生体時計は毎日周期24時間にリセット

コルチコステロイドの日内変動

朝高く、夕方には低くなるホルモン

「目覚まし時計」は脳にある

人間の生体リズムをコントロールする体内時計は、1日約2 24.5時間のサイクルになっている。そのため脳の視交叉上核が毎朝、太陽の光を視覚で認識することによって生体リズムを1日24時間に調整している。



NEWSWEEK 1998, 9, 30

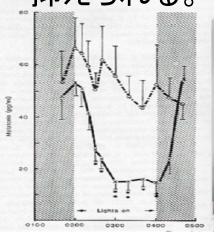
メラトニン の働き

抗酸化作用(老化防止、 抗ガン作用)

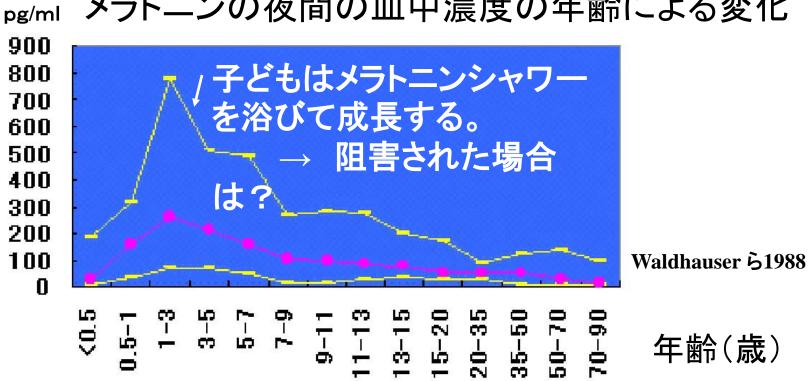
リズム調整作用(鎮 静•催眠)

性的な成熟の抑制

メラトニン 分泌は光で 抑えられる。



メラトニンの夜間の血中濃度の年齢による変化



Late nocturnal sleep onset impairs a melatonin shower in young children 夜ふかしでメラトニン分泌低下

Jun Kohyama

Department of Pediatrcs, Tokyo Medical and Dental University, JAPAN.

Key words:

melatonin; late sleeper; sleep deprivation; antioxidant;

melatonin shower

男子17歳の平均身長の推移

23 3		
昭和23年度	160.6cm	
同 57年度	170.1cm	
平成 元年度	170.5cm	
同 6年度	170.9cm	
同 15年度	170.7cm	

※文部科学省の学校保健統計調査報告書より

平均初潮年齢の推移

昭和36年	(第1回調査)	13歳2.6カ月
同 52年	(第5回調査)	12歳6.0カ月
同 57年	(第6回調査)	12歳6.5カ月
平成 4年	(第8回調査)	12歳3.7カ月
同 9年	(第9回調査)	12歳2.0カ月

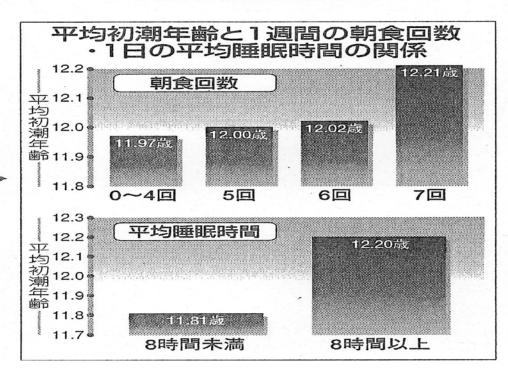
※大阪大学の日野林教授らの調査結果より

初期調査 わが国の子供の性成 を書で女子児童・生徒を対象にアンケート形式で実施。計1回調査し、約297年まで女子児童・生徒を対象にアンケート形式で実施。計1回調査し、約29万人のデータを蓄積している初潮に絞ったよのデータを蓄積している初潮に絞ったよのデータを蓄積している初潮に終ったよのデータを蓄積している。

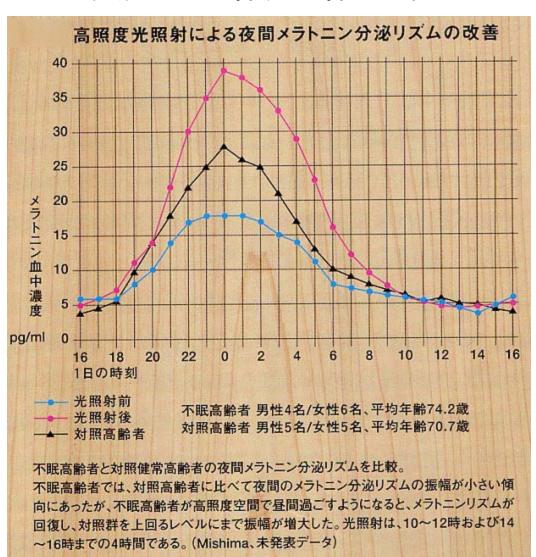
日野林教授が平成14年2月、約6万4000人を対象に実施した調査によると、1週間の朝食回数がゼロから4回の子供の平均初潮年齢は11.97歳、一方、毎

夕 罗 フ 計划

日食べる子供は12.21 歳で、朝食を抜く子供 の方が早い。睡眠時間 は1日平均8時間未満 の子供が11.81歳、同 8時間以上の子供は12 .20歳で、睡眠時間の 短い子供の方が早い。



メラトニン分泌は昼間の 受光量が増すと増える。



セロトニン

• こころを穏やかにする神経伝達物質

運動と関係する神経系 → セロトニン系

セロトニン系:

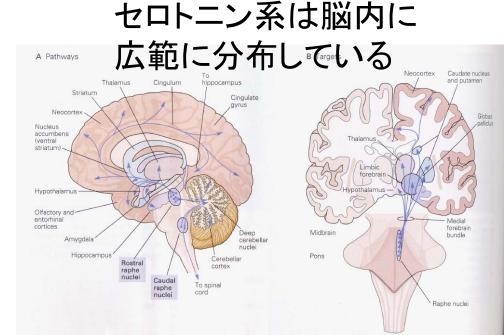
脳内の神経活動の 微妙なバランスの維持

セロトニン系の活性化

(步行、咀嚼、呼吸

- = リズミカルな筋肉活動)
- → 行動中の脳活動の安定化に寄 与
 - → 運動すると「気分がいい」
 - → 障害で精神的な不安定

、(強迫神経症、不安障害、気分障



セロトニン神経系の活動は stateにより変化する。
のなほどものたことは分類



表 1 セロトニン神経系と攻撃性の関係

	セロトニン神経系の変化	攻撃性の変化
実験動物	セロトニン神経系の破壊	攻撃性の増加
(ラット・マウス)	薬物による活動低下	攻撃性の増加
	遺伝子操作による不活化	攻撃性の増加
野生動物	脳内セロトニン量の増加	家畜化による攻撃 性の低下
サル	セロトニン神経の薬物による 活動低下	社会活動の低下 孤立化 攻撃性の増加
野生サル	脳内セロトニン量の低下	社会地位の変動 攻撃性の増加
E h	脳脊髄液内セロトニン 代謝物の低下	攻撃性・衝動性 暴力犯罪者
	脳内セロトニン量の低下 MAO-A 遺伝子欠損	自殺行為者 攻撃性の増加
THE WAS STORAGE TO A CONTROL OF THE WAS A STORAGE OF THE STORAGE O	ハハム コーム 1月 17 一一 // 1月	エハニシュー(ハ)アニュリコ

低セロトニン症候群

Aggression, Suicidality, and Serotonin

V. Markku I. Linnoila, M.D., Ph.D., and Matti Virkkunen, M.D.

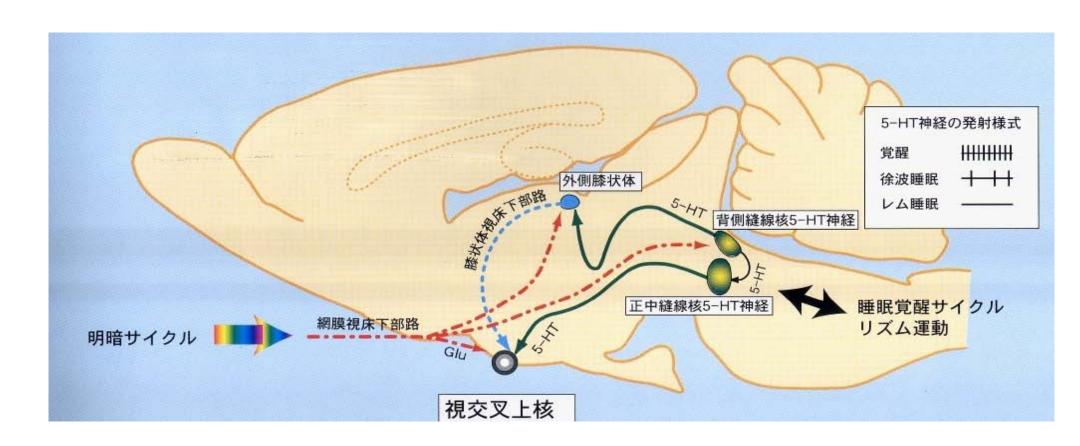
Studies from several countries, representing diverse cultures, have reported an association between violent suicide attempts by patients with unipolar depression and personality disorders and low concentrations of the major serotonin metabolite 5-hydroxyindoleacetic acid (5-HIAA) in the cerebrospinal fluid (CSF). Related investigations have documented a similar inverse correlation between impulsive, externally directed aggressive behavior and CSF 5-HIAA in a subgroup of violent offenders. In these individuals, low CSF 5-HIAA concentrations are also associated with a predisposition to mild hypoglycemia, a history of early-onset alcohol and substance abuse, a family history of type II alcoholism, and disturbances in diurnal activity rhythm. These data are discussed in the context of a proposed model for the pathophysiology of a postulated "low serotonin syndrome."

(J Clin Psychiatry 1992;53[10, suppl]:46-51)

衝動的・攻撃的行動、自殺企図 髄液中の5HIAA濃度の低下 日中の活動リズムの異常

と関連。

セロトニンの活性を高めるのは? リズミカルな筋肉運動 そして朝の光





経済を脳から解く

から、人間の経済活動を読み 解くことを目指す分野だ。

間は合理的な行動をするといる際、脳内物質のセロトニン うモデルに基づいていた。

だが足りないと、

衝動的に目先 が、現実にはそれだけでは説 明できない現象が多い。

「人間の行動を生み出す脳 の働きを、脳科学の手法を用 いて解明し、新しい経済のモ デルづくりを目指します」。 大阪大社会経済研究所の田中 沙織・特任准教授は研究内容 を、こう説明する。

的に報酬を予測するときと、 長期的に報酬を予測するとき

「ニューロエコノミクスでは、脳の活動する場所が違 (神経経済学)」という新し うことをみつけた。目先の欲 い研究分野がある。脳の働き しいものにすぐに手を出す か、将来の利益を選ぶかの判 断に関係しているという。

経済学はこれまで、主に人さらに、こうした選択をす の報酬を選びがちになること も突き止めた。

> 人間はどれくらい先の報酬 まで考慮して行動するのか。 脳の活動を調べると、その期 間に応じて働く複数の神経回 略があり、セロトニンがこれ らの働きを調整している。

セロトニンが不足すると、 田中さんらは、人間が短期 こうした調整能力が失われ、 将来を見越した最適な行動が とれなくなるらしい。

セロトニンがたりないと、20分後の20円より、 5分後の5円を求める。

報酬予測回路

目先の報酬を予測しているときは、前頭葉眼窩(がんか)皮質や線条体の下部を通る回路(情動的な機能にかかわる)が活動し、将来の報酬を予測しているときは、背外側前頭葉前野や線条体の上部を通る回路(認知的な機能にかかわる)が活動する(Tanaka SC,らNat Neurosci. 2004 Aug;7(8):887-93.)。

被験者の脳内のセロトニン濃度が低いときには、短期の報酬予測回路がより強く活動し、セロトニン濃度が高いときには、長期の報酬予測回路がより強く活動(Tanaka SCらPLoS One. 2007 Dec 19;2(12):e1333.).

脳内のセロトニン濃度が低いときには、衝動的に目先の報酬を選びがち(Schweighofer NらJ Neurosci. 2008 Apr 23;28(17):4528-32.)。

まとめ

早起き早寝(朝の光、昼の活動、夜の闇) が大切なわけ 理論武装の参考に

	朝の光	昼間の活動	夜の光
大多数のヒトで 周期が24時間 よりも長い生体 時計	生体時計の周期短 縮 地球時間に同調。		生体時計の周期延 長 地球時間とのズレ 拡大。
こころを穏やかにする神経伝達物質一セロトニン	↑	リズミカルな筋肉運動(歩 行、咀嚼、呼吸)で↑	
酸素の毒性から 細胞を守り、眠 気をもたらすホ ルモンー メラトニン		昼間の光で↑	↓

夜中の光で…体内時計バラバラ 理研チームが発見

機能停止で不眠症も

真夜中に光を浴びると眠れなくなるのは、細胞に組み込まれている体内時計が光の刺激でバラバラになり、機能停止に陥るのが原因であることを理化学研究所などの研究チームが突き止めた。この成果は、米科学誌「ネイチャー・セル・バイオロジー」(電子版)に22日掲載される。

体内時計は人間などの動物に生まれつき備わっている。体を作る細胞はいろいろな「**時計遺伝子**」 を備えていて、心拍や体温などを約24時間周期で調節する。バランスが崩れると、不眠症になることもある。

理研の上田泰己チームリーダーらは、マウスの皮膚細胞を〈1〉網膜のように光を感じる〈2〉朝の活動モードに切り替える時計遺伝子が働くと、細胞自身が発光する——ように改造。そのうえで、改造細胞群に様々なタイミングで光を当てた。

正常なら細胞群は朝方光り、夜は消えるはずだが、真夜中に光を当てると、朝の発光が少なくなり、体内時計の働きが弱まった。**真夜中に光を3時間続けて当てると、体内時計の機能の一部が停止**し、個々の細胞がバラバラに光るようになった。

時計遺伝子 1997年に哺乳(ほにゅう)類で初めて発見されて以来、約10種類が確認されている。 夜行性のマウスと人間では、遺伝子の働く時間が逆転している。遺伝子により体内時計が1周する 時間は、マウスが約24時間、ショウジョウバエは23時間半など、種によって違う。

(2007年10月22日 読売新聞)

早起き・早寝・朝ごはん・昼間の活動が大切なのは

- 朝の光には周期が24時間よりも長い生体時計の周期を短くして地球時間にあわせる働きがあるから。
- 朝の光でこころを穏やかにする神経伝達物質(セロトニン)の働きは 高まるから。
- Breakfast を摂らないと絶食(飢餓)状態が続くから。
- 噛むことはリズミカルな筋肉運動でセロトニンを高めるから。
- 食事時刻は48時間保持されるから。
- リズミカルな筋肉運動がセロトニンの働きを高めるから。
- 酸素の毒性から細胞を守り、眠りを促すホルモン(メラトニン)の分泌 は昼間に光を浴びることで高まるから。
- 夜の光は生体時計の周期を長くするから。
- 夜の光は夜のメラトニンの分泌を抑えるから。
- 夜の光は生体時計の働きを止めてしまう!?
- 夜ふかし朝寝坊では生体時計と地球時間とのズレが大きくなり、時差ばけのような状態になってしまい、セロトニンとメラトニンの働きが低下し、元気も食欲もやる気も出なくなってしまうから。

子どもたちの健やかな発育のために、 昼のセロトニン・夜のメラトニンを高める8か条

- 毎朝しつかり朝日を浴びて。
- ゴハンはしっかりよく噛んで。特に朝はきちんと食べて。
- 昼間はたっぷり運動を。
- 夜ふかしになるなら、お昼寝は早めに切り上げて。
- テレビビデオはけじめをつけて、時間を決めて。
- 寝るまでの入眠儀式を大切にして。
- 暗いお部屋でゆっくりおやすみ。
- まずは早起きをして、

悪循環(夜ふかし→朝寝坊→慢性の時差ぼけ→眠れない) を断ち切ろう。









2007年3月2日読売新聞

このような記事の羅列にはだまされないあなたも、あるある大辞典の納豆にはだまされてしまう。

ヒトの話は真に受けないで、いったんは必ず自分の頭で考えて。

子どもたちの健やかな発育のために、 昼のセロトニン・夜のメラトニンを高める8か条

- 毎朝しつかり朝日を浴びて。
- ゴハンはしっかりよく噛んで。特に朝はきちんと食べて。
- 昼間はたっぷり運動を。
- 夜ふかしになるなら、お昼寝は早めに切り上げて。
- テレビビデオはけじめをつけて、時間を決めて。
- 寝るまでの入眠儀式を大切にして。
- 暗いお部屋でゆっくりおやすみ。
- まずは早起きをして、

悪循環(夜ふかし→朝寝坊→慢性の時差ぼけ→眠れない) を断ち切ろう。

早起きサイト



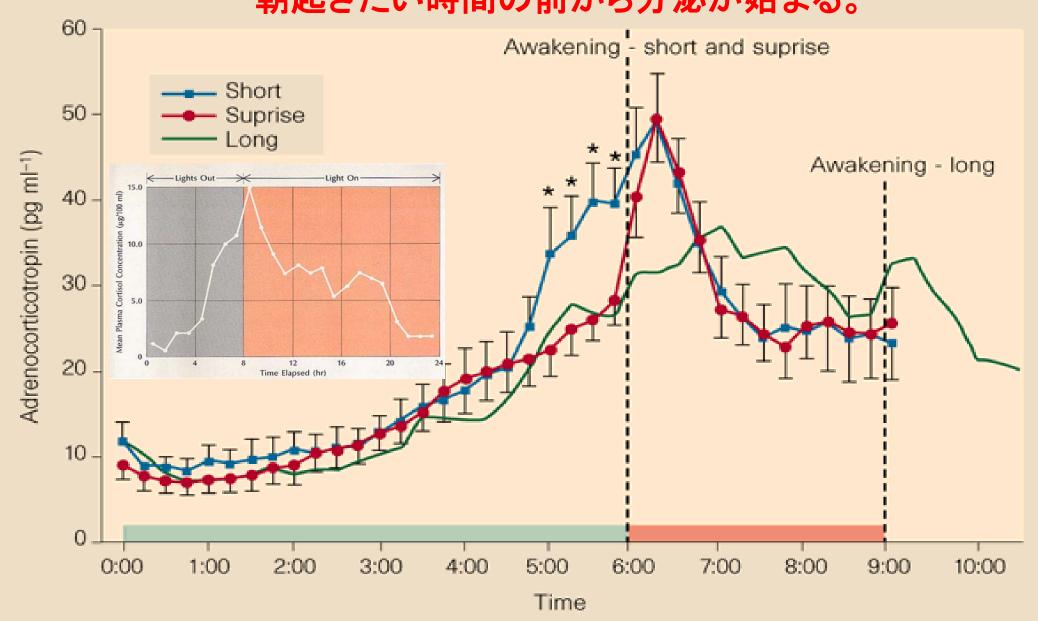
「子どもの早起きをすすめる会」 結成しました!

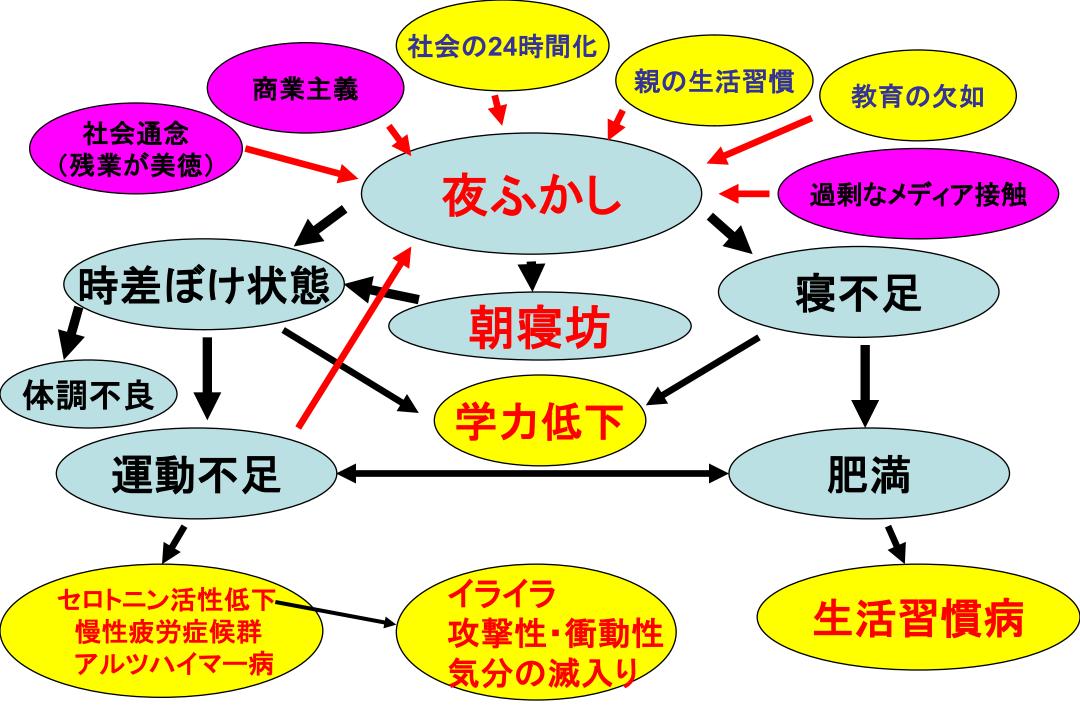
~朝陽をあびて 昼間は大活躍 バタンきゅう~

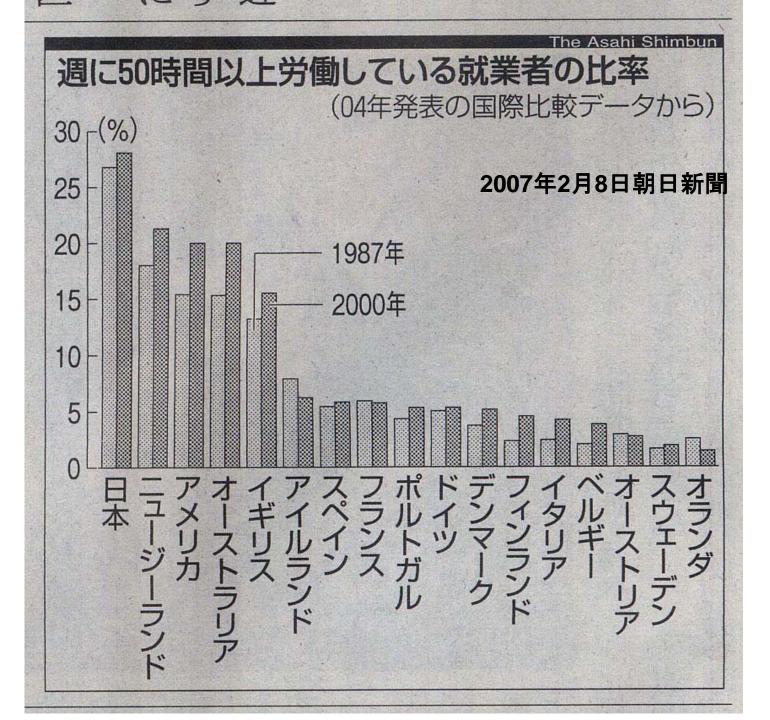


http://www.hayaoki.jp

コルチコステロイド分泌を促すACTHは、 朝起きたい時間の前から分泌が始まる。

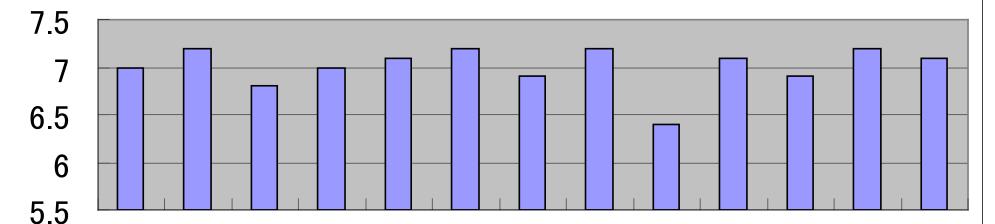


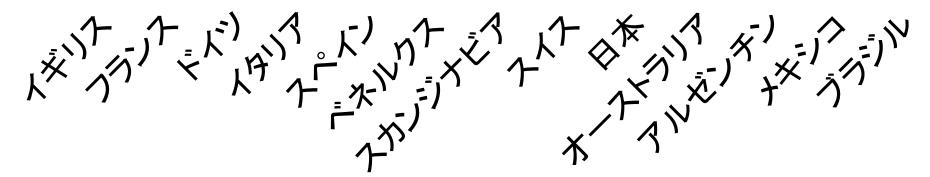




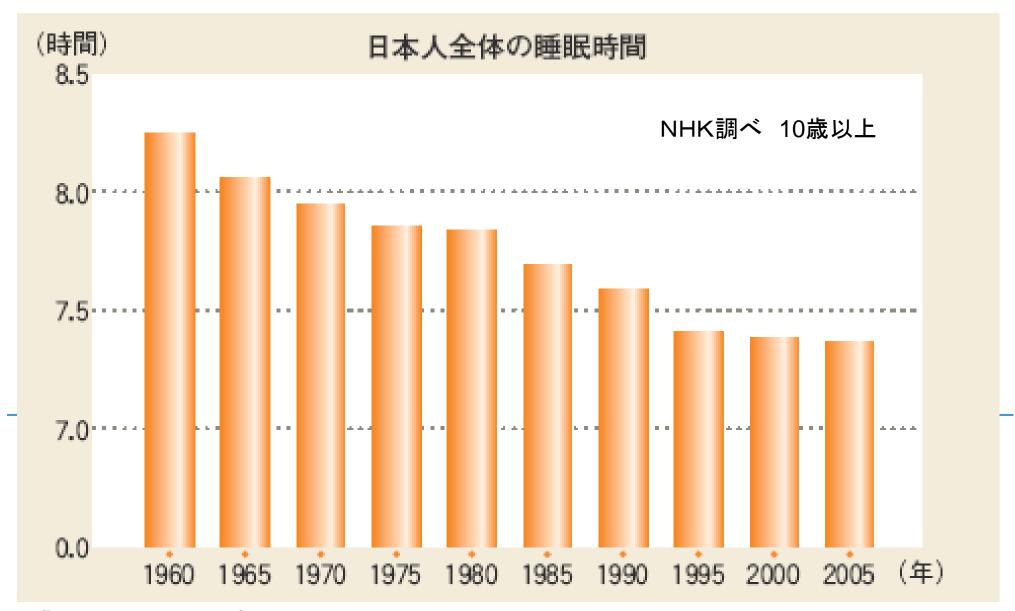
国・地域別の睡眠時間



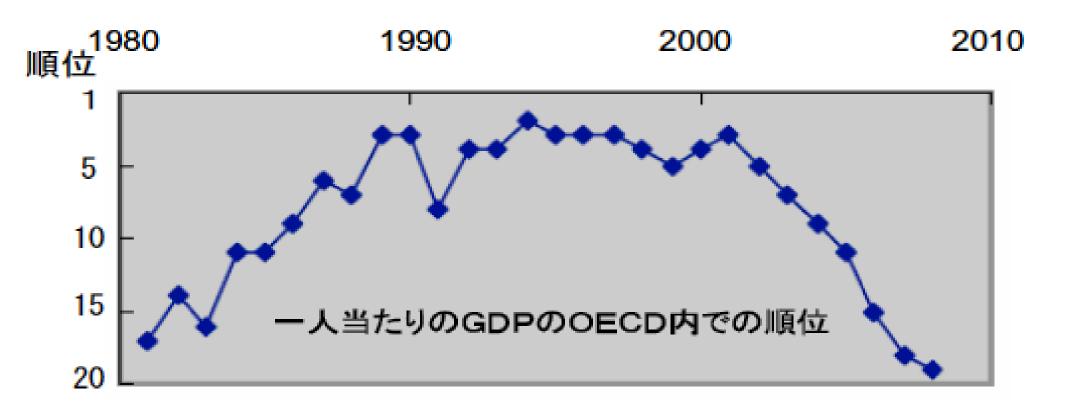


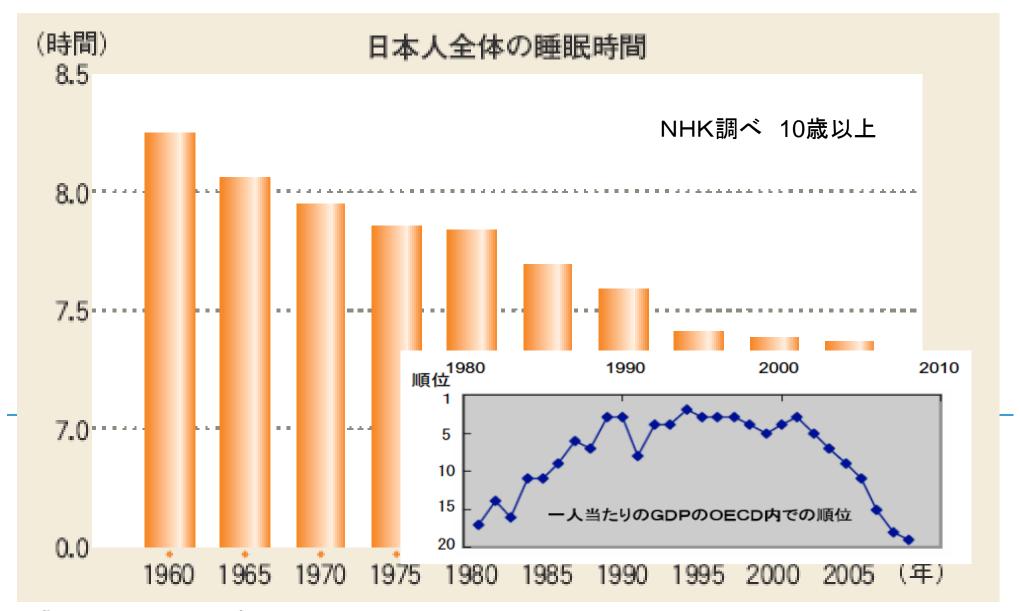


各地域500名 18-64歳(2008年8月20日から9月1日の調査)



出典:国民生活時間調査より





出典:国民生活時間調査より

睡眠時間が7.5時間を切った1995年の7年後、2002年以降順位は続落。

(表1)世界銀行等のデータによる世界各国の労働生産性(2004年)

_	_				_
MA	国名	労働生産性	順	国名	労働生産性
1	ルクセンブルグ	105,710	26	マルタ	50,978
2	アイルランド	86,025	27	ニュージーランド	46,937
3	米国	82,928	28	南アフリカ	44,224
4	ベルギー	78,292	29	スロベニア	44,203
5	ノルウェー	77,600	30	韓国	43,696
6	イタリア	73,259	31	ハンガリー	43,574
7	フランス	71,849	32	チェコ	42,127
8	オーストリア	70,686	33	ポルトガル	40,240
9	英国	65,881	34	スロバキア	36,138
10	フィンランド	65,612	35	ポーランド	35,732
11	オランダ	65,016	36	クロアチア	34,656
12	ドイツ	64,673	37	エストニア	32,972
13	香港	64,480	38	アルゼンチン	32,916
14	デンマーク	63,412	39	リトアニア	31,351
15	オーストラリア	63,343	40	モーリシャス	30,480
16	スウェーデン	63,055	41	チリ	29,903
17	カナダ	62,455	42	トリニダート・トバゴ	28,206
18	スペイン	59,520	43	アルジェリア	27,398
19	日本	59,050	44	ラトピア	26,483
20	アイスランド	58,867		<u> </u>	L- 112
21	スイス	58,338	ļ	時間をかけ	れば
22	シンガポール	57,598			
23	ギリシャ	56,687		仕事が捗	6
24	キプロス	55,725		という幻想	148
25	イスラエル	52,770		こし・ノム」心	in'
単	位:購買力平価技	処算ドル	_	書屋に あ	ス

甲豆にのつ

「労働生産性」とは一定時間内 に労働者がどれくらいのGDP を生み出すかを示す指標。 2004年度の結果(米国を100)に よるとユーロ圏87%、英83%、 **OECD** (Organization for **Economic Cooperation and** Development, 経済協力開発 機構)加盟国の平均75%だが、 日本は71%。

これはOECD加盟30カ国中 第19位、主要先進7カ国間で は最下位。

残業(睡眠時間が犠牲)

⇔ 低い労働生産性

(表1)世界銀行等のデータによる世界各国の労働生産性(2004年)

順	国名	労働生産性	順国名	労働生産性
1	ルクセンブルグ	105,710	26 マルタ	50,978
2	アイルランド	86,025	27 ニュージーランド	46,937
3	米国	82,928	28 南アフリカ	44,224
4	ベルギー	78,292	29 スロベニア	44,203
5	ノルウェー	77,600	30 韓国	43,696
6	イタリア	73,259	31 ハンガリー	43,574
7	フランス	71,849	32 チェコ	42,127
8	*	-		

「労働生産性」とは一定時間内 に労働者がどれくらいのGDP を生み出すかを示す指標。 2004年度の結果(米国を100)に トスレューロ圏27% 茁23%、

34,656

26,483

10	742721	,	-
11	オランダ	65,016	93
12	ドイツ	64,673	93
13	香港	64,480	93
14	デンマーク	63,412	97)
15	オーストラリア	63,343	4
16	スウェーデン	63,055	4
17	カナダ	62,455	4
18	スペイン	59,520	4
19	日本	59,050	4
20	アイスランド	58,867	
21	スイス	58,338	
22	シンガポール	57,598	
23	ギリシャ	56,687	
24	キプロス	55,725	
25	イスラエル	52,770	
100	The state of the s	Company of the compan	_

時間をかければ 仕事が捗る という幻想が 背景にある

Economic Cooperation and Development, 経済協力開発 機構)加盟国の平均75%だが、 日本は71%。

これはOECD加盟30カ国中 第19位、主要先進7カ国間で は最下位。

残業(睡眠時間が犠牲)

⇔ 低い労働生産性

寝る間を惜しんで仕事をする。 寝る暇もない。 でも•••

寝る間を惜しんで、寝ないでまともな仕事ができますか?

• 居眠りこそが、ビッグチャンスの源、ゆりかご。

ウサギとカメ

- カメはたゆまない努力を惜しまなかったので勝った。
 - → 勤勉のすすめ
- ウサギは油断し、怠けて、居眠りをしたから負けた。
 - → 油断大敵、居眠りは怠け!?

余談ですが亀は爬虫類、変温動物で、基本的に昼行性。兎は夜行性です。 うさぎうさぎなにみてはねる、じゅうごやおつきさんみてはねる ですから昼間の競争は亀に有利で、夜の競争は兎に有利では? 「ウサギが夜行性であることを知って、戦いを昼間に持ち込んだ亀の作戦 勝ち」という見方は?



スーパー内フードコート

製液体が見ばしんなに街にいる



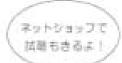
キレル子

痴呆

生活習慣病







うなら、もどの与語 CD 発売中

ネットショップ、ファックスでご購入できます。下記必要事項を記入の上、お申込みください。

必要 申項 ①希望数 ②氏名 ②送付先の住所 ②電話番号 ⑤メールアドレス

ネットショップ http://www.toilet.or.jp/uta/ FAX 03-3580-7176

お問合せ:日本トイレ研究所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-7 第2文成ビル3F TEL03-3580-7487



子どもの健康は、 うんちから。

うんちからの健康教育 を提案します!みんなで トイレを好きになっていい うんちをしよう!

定価¥1,000 (統数¥953)

WH =

- 1. うんちっち! のうた
- 2. Poo-Poo song
- 3. カラオケ

Labo.

日本トイレ研究所



「うんち王子」がトイレを変える

かとう あつし 加藤 篤 さん(36)

文·見市紀世子

写真·福岡亜純

とま 当した。活動に賛同する自治体や企 を引き継いで研究所ができた。 「暗くて臭いイメージの学校トインを 「暗くて臭いイメージの学校トインを楽しく変えたい」と頭をひねまず しを楽しく変えたい」と頭をひねます。 一である。一年のうた」を発売し、歌に合わせて 「元気なうんちを出せるように」と がトイレを改修する試みも始めた。 「変身」するきっかけは昨年、言 を介えている。出前教室とセットで学 校トイレを改修する試みも始めた。 だった。夢は、様々な国籍の子ども だった。夢は、様々な国籍の子ども

地球資源の無駄遣い、 気合と根性・24時間社会・ 寝ないことの奨励。 無知の善意が背景にあるだけ、 始末が悪い

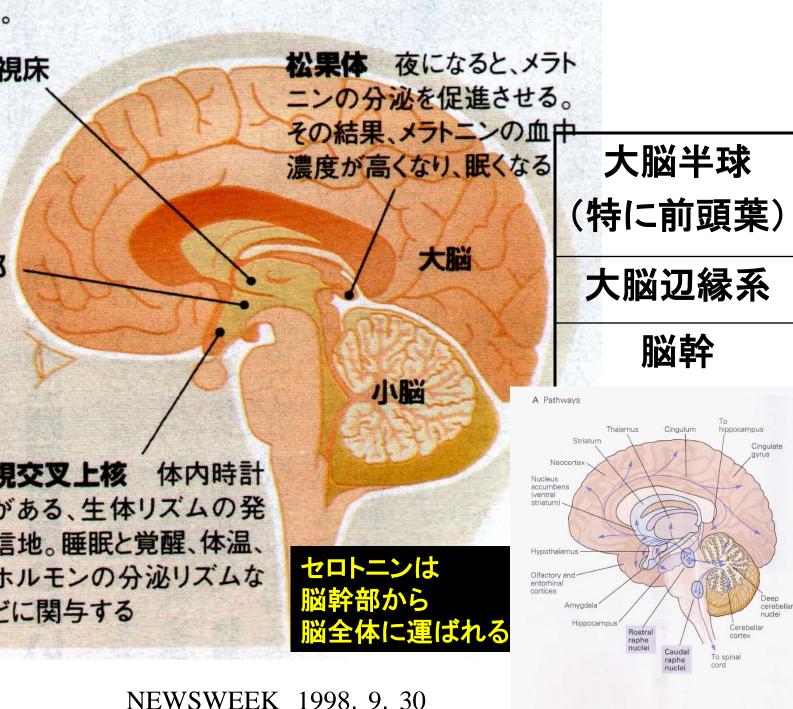
24時間テレビは地球とヒトの身体を破壊する。

リゲOン ReOaOn 24時間戦えますか?

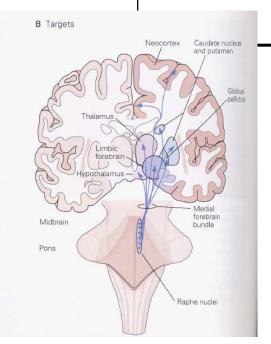
24時間働いてはいけません。

24時間働くなんて、 そんな危険なことはありません。 注意力は散漫になり、集中力は下がり、 仕事の能率は下がります。

24時間起きてると、 ドジって、ケガして、ビョーキになります。



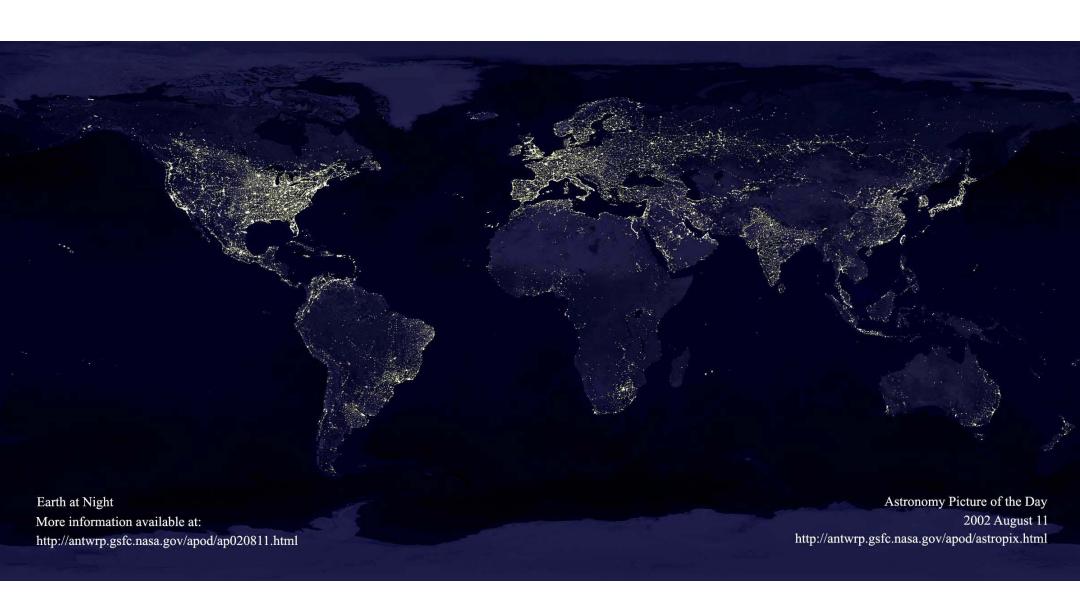
大脳半球
(特に前頭葉)人智
考える大脳辺縁系気持ち感じる脳幹いのち生きる



生体時計が無視されている!!

- 夜スペ
- ・サマータイム
- 24時間テレビ、リゲ〇ン、眠〇打破
- 過剰なメディア(含む携帯)

ヒトは動物。身体、すなわち健康あっての経済活動という視点がなおざりにされているのでは。 Biological clock-oriented life style (生体時計を考慮した生き方)の実現を





有料授業スタート...杉並・和田中

(2008年1月26日 読売新聞)

東京・杉並の区立和田中学校(藤原和博校長)で26日、大手進学塾「SAPIX(サピックス)」の講師が担当する有料授業「夜スペシャル(夜スペ)」が始まった。

週3~4回の夜スペは平日夜の授業が中心だが、都教育委員会の「義務教育の機会均等の点から問題がある」という"待った"で開始日が当初の予定から17日間も延びたため、毎週土曜午前に実施される英語の授業が、初日になった。

この日の英語は午前9時から行われた。 SAPIXの入塾テストに合格した同中の2年 生計19人の中で、英語を選択した13人の スナー体型が悪ノ会加できたかった生徒にも



初めて行われた「夜スペ」の英語の授業。26日午前 杉並区和田中学にて

担当講師の年齢や詳しい経歴をSAPIX は明かしていないが、「特に優秀なベテラ ン」という紺のスーツ姿の男性。冒頭には、

無知は将来(子どもたち)に対する罪では?

なお平日の授業は1900-2135 (神山 注)

秀。素晴らしいじゃない」などと声をかけていた。

豊かさ 報道の 危

庭と200万円未満の家庭では最答率が年収1200万円以上の家 が見られたため、 めて開示した結果でも、 府が市町村の平均得点を全国で初 た文部科学省が、小学6年生の正 意の段階にある。今月に入って、 る」というニュースが、この要注 ತ್ಯ も」である。 2つの言葉、 大33ずの差があると発表し、 昨年の全国学力調査結果を分析し り」という感覚で掲載され始め しなければならない段階である。ていないか、編集者として注意を たニュースはやがて、 いろいろあるが、 最近では「学力は年収に比例す ニュース価値を判断する尺度は ステレオタイプの紙面になっ 「またも」で選ばれ 「初めて」と「また 多用されるのが 「やっぱ 同じ傾向 豊か 大阪

from Editor

ってしかるべきではないか。 何をしているのかという批判があっている。ならば、学校や教師は どの教育産業を利用しなければ学 道で大事なポイントが見落とされ ではない。問題は、 う認識が深まることは、悪いこと 子供は社会全体で育てるものとい 公立小学校はークラス30人余りで 刀は育たないという前提で成り立 ることである。 少子化に歯止めをかけるため、 「学力―豊かさ」 45人学級時代に比べれば、 報道は、 紋切り型の報 今

経済格差や生活格差をはね返すない学校とは、何だろうか。で埒外に置かれて目立った発言もすい。にもかかわらず、学力問題すい。にもかかわらず、学力問題

もできない理屈に違い勉強できないとは、独 も無料だったからだ。 たのは10歳の好古だった。兄弟はあげるぞな」と言ってそれを止め りの五男、真之を寺にやって口減を失った秋山家は、生まれたばか 人、秋山好古ご父り早三日してる『坂の上の雲』の主人公の 進んで歴史に名を残す。 やがて、士官学校と海軍兵学校に た。 らしせねばならぬほど貧乏だっ 言った言葉である。 ಠ್ಠ めた大きな理由は、 し」。今秋からNHKドラマにな う歴史も忘れられようとして バネこそが勉学・学問だったとい 経済格差や生活格差をはね返す た言葉である。明治維新で禄秋山好古に父の平五郎久敬が お豆腐ほどお金をこしらえて 「貧乏がいやなら、勉強をお 「おっつけウチが勉強して 彼らには想像 いずれの学校 ない 進路を決

(大阪編集長 安本寿々)

に行き届きや

神山 潤 オフィシャルWEBサイト

いのち、気持ち、人智 コウヤマから皆様へ、そして皆様から未来へ、皆で奏でる智慧の涼風



2009/07/27 100 生活リズム甲子園

Dr.KohyamaOfficial Web Site

いのち、気持ち、人智

PROFILE レポート・資料 トップページへ New Arrival Report NEW >> 全ての睡眠関連レポート一覧(全92件) << 2009/07/30 (DEW) 早寝早起き、生活にメリハリをつけさせたい! 2009/07/29 🖭 早起き早寝が大切なわけ 2009/07/27 🖭 早起き&"朝チャレ"は脳を元気にしてくれます。 2009/07/25 🤼 寝る間を惜しんで仕事をしても、仕事の質は上がらない 2009/07/22 💌 成績upのヒケツは、食事、睡眠、生活リズム! 新着のレポート、資料を5件表示致します。 全てのレポートをご覧いただくには、上部メニューの「レポート・資料」をクリックしてください。 Short Message & Column 🔊 >> 全てのショートメッセージ一覧(全184件) << 2009/08/01 new 今年初めてのセミの鳴き声 2009/07/28 new エーッ、塾にも行かないでケンブリッジですか 2009/07/27 new 今年のセミと赤とんぼ。

◆最終更新日:2009/08/01◆

サイト内検索

お問い合わせ

POWERED BY XXMQ

トップページへ プロフィール

------ショートメッセージ

レポート・資料

オンライン映像資料

講演スケジュール

監修・評価活動 -----メールマガジン

関連リンク

睡眠FAQ

お問い合わせ

神山 潤 オフィシャルWEBサイト

いのち、気持ち、人智 コウヤマから皆様へ、そして皆様から未来へ、皆で奏でる智慧の涼風



Dr.Kohyama

Official Web Site

トップページへ

PROFILE

レポート・資料

お問い合わせ

・ <u>睡眠・眠り</u>・ <u>生活リズム</u>現在: 1件の質問が寄せられています

プロフィール ショートメッセージ レポート・資料

トップページへ

オンライン映像資料 講演スケジュール

監修・評価活動

メールマガジン

関連リンク

睡眠FAQ

お問い合わせ

書籍オンラインストアー

サイト内検索

POWERED BY XAMOO

-- おすすめ書籍 --



LaClef

神山潤

「夜ふかし」の脳科学

子どもの心と体を壊すもの





仕事も勉強も ダイエットも なぜか大成功!

調談社一〇新書

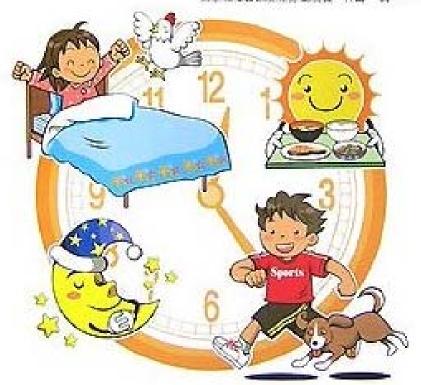
長く眠るのではなく「いかに眠るか」が重要。 狂った生体時計をほんの少し調整するだけ!

ビジュアル版 団体と健康シリーズ

会すぐ物がよろり

よく寝、よく食べ、元気に活動

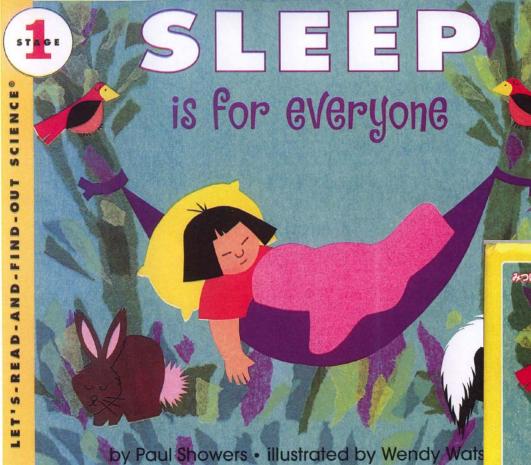
美京北社会保護成绩 影埃斯 神山



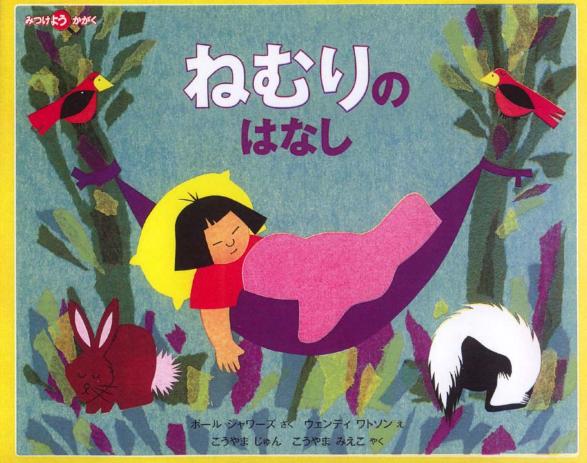
少年写真所開社

眠りは 👸 と 🕠 の 栄養! よくわかる事典 早起き・早寝で元気になれる [監修] 神山 潤





Text copyright 1972 by Paul Showers HarperTrophy 1997



福音館書店 2008年9月発行